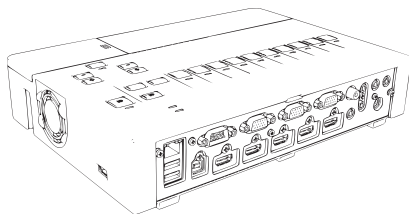


マルチファンクションスイッチャー / ワイヤレスマルチファンクションスイッチャー MS-1J/MS-1WJ (形名: MS-1/MS-1W) 取扱説明書 - 詳細 - 応用編

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本品をより安全にご活用いただくため、必ず初めに本書をお読みください。




警告

特に断わりの無い限り本書では、「説明書」はこの製品に付属する全ての文書を意味し、「本品」は付属品を含むこの製品の全てを意味します。

本書について

以下をご参考に本書をご活用ください。

- ① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。
- ② **お守りください**：本機、およびその他の周辺機器を安全かつ快適にご使用いただくための情報を記載しています。この表示に従ってください。
- ③ **お知らせ**：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。
- ④ ：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

お知らせ

- 本書では、特に断わりの無い限り、「説明書」はこの製品に付属する全ての文書を意味し、「本品」は付属品を含むこの製品の全てを意味します。
- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載している挿絵は、説明のための一例です。お客様のスイッチャーとは若干の相違がある場合があります。

商標について：

- Microsoft[®]、Internet Explorer[®]、Windows[®]、Windows XP[®]、Windows Vista[®]、Windows 7[®]、Aero[®]、DirectDraw[®] および Direct3D[®] は、米国またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac[®]、Macintosh[®] および Mac OS[®] は Apple Inc. の登録商標です。
- VESA および DDC (DDC/CI) は Video Electronics Standards Association の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の米国およびその他の国における商標又は登録商標です。
- Blu-ray[™]、および Blu-ray Disc[™] は Blu-ray Disc Association の商標です。その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。



はじめに	4	映像メニュー	27
本機の特徴	4	表示メニュー	32
付属品	4	入力メニュー	36
各部の名称	5	設置メニュー	41
準備と設置	8	オーディオメニュー	42
他の機器と接続する	10	スクリーンメニュー	44
セキュリティ・スロット/バーを使う	16	その他メニュー	51
簡単設定	17	ネットワークメニュー	58
電源を入れる	17	プレゼンテーションツール	74
入力信号を選ぶ	20	PC レス プレゼンテーション	74
電源を切る	20	USB ディスプレイ	86
設定・調節	21	点検とお手入れ	91
音量を調整する	20	故障かなと思ったら	92
音声を消す	20	メッセージ表示について	92
入力信号を選ぶ	22	インジケータ表示について	93
プロジェクター操作	23	全ての設定のリセット	94
簡易マウス/キーボードとして使う	24	故障と間違いやすい現象について	94
メニュー機能の使い方	25	仕様	99

はじめに

本機の特徴

本機は、さまざまなビジネスシーンをカバーする多様な入出力端子、そして**HDMI OUTPUT**端子を備えています。

- ✓ 本機は、映像機器に接続することができる4つのHDMI端子と3つのUSB TYPE A端子を備えており、幅広いデジタル出力信号に対応しています。
- ✓ 本機は、マイク専用の端子と音声調整の専用ボタンを備えています。
- ✓ 本機では、接続されているプロジェクターの設定や電源を操作することができます。(全てのプロジェクターが、本機能をサポートしているわけではありません。)
- ✓ 無線で高品位の映像の1080pを劣化なしに伝送することができます。(MS-1WJのみ)

付属品

取扱説明書(かんたんガイド)の付属品の欄をご確認ください。記載されている内容が、全て同梱されているか確認してください。

万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。



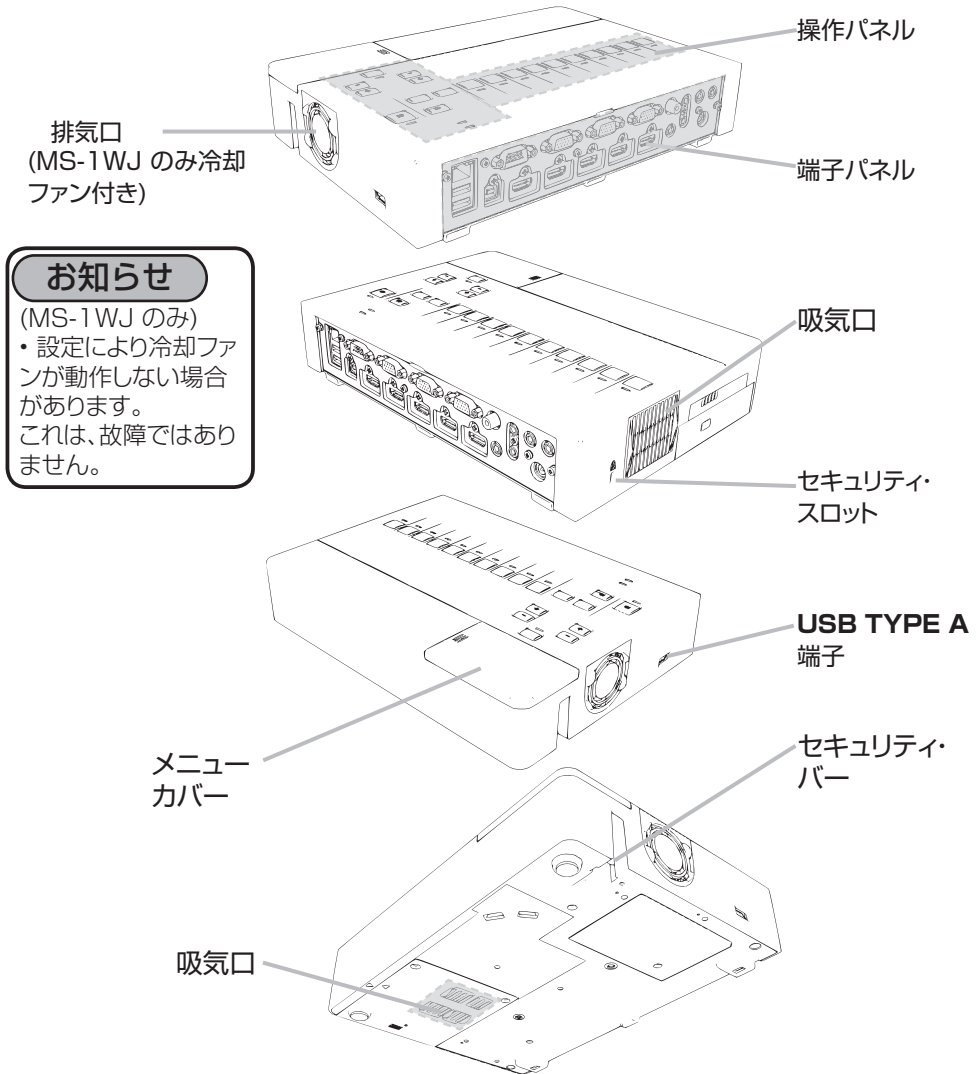
警告

小さな部品は、子どもやペットが届かないところに設置、あるいは保管してください。飲み込まないようご注意ください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。

お知らせ

- 梱包材は大切に保管してください。修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。

各部の名称

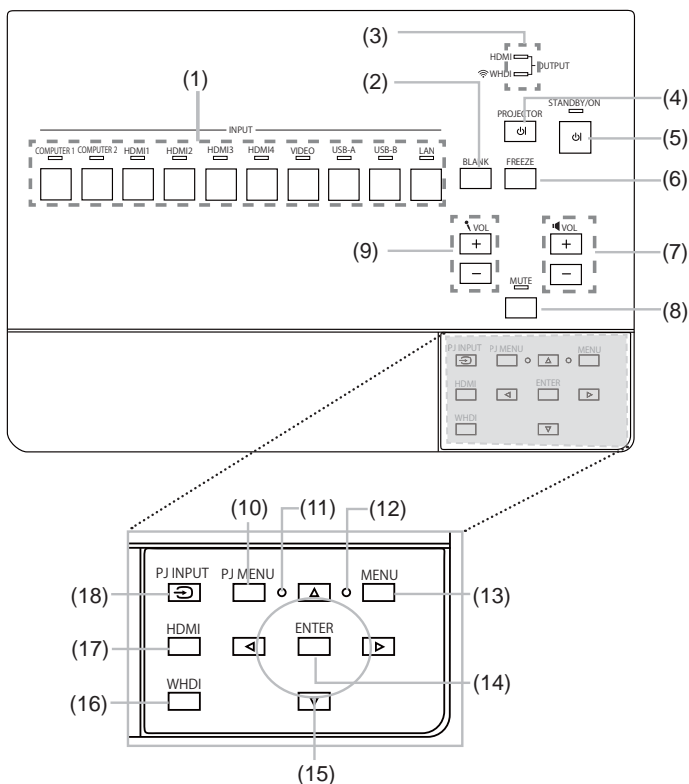


警告

- ▶ 本機を分解しないでください。本書に記載のある場合を除き、開けないでください。
- ▶ 重い物を載せたり、衝撃を与えないようご注意ください。

各称の名所 (つづき)

操作パネル



- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| (1) INPUT ボタン | (10) PJ MENU ボタン* |
| (2) BLANK ボタン | (11) PJ MENU インジケータ |
| (3) LED インジケータ(HDMI, WHDI) | (12) MENU インジケータ |
| (4) PROJECTOR ボタン* | (13) MENU ボタン |
| (5) STANDBY / ON ボタン | (14) ENTER ボタン* |
| (6) FREEZE ボタン | (15) ▲/▼/◀/▶ ボタン* |
| (7) VOLUME + / - ボタン (スピーカ用) | (16) WHDI ボタン (MS-1WJ のみ) |
| (8) MUTE ボタン | (17) HDMI ボタン |
| (9) VOLUME + / - ボタン (マイク用) | (18) PJ INPUT ボタン* |

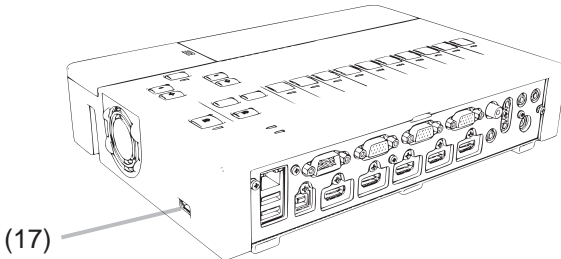
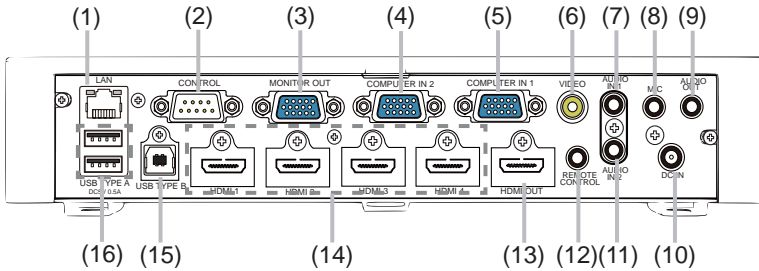
*これらのボタンは、全てのプロジェクターをサポートしていません。
詳細はディーラや販売店にお尋ねください。

*接続されているプロジェクターの設置メニューのスタンバイモードがセービングに設定の場合は、これらのボタンは操作できなくなります。

*HDMIおよびWHDI接続経由で、これらのボタンを使用することができます。(P.18)

各部の名称 (つづき)

端子パネル



- | | |
|----------------------|------------------------|
| (1) LAN 端子 | (10) DC IN 端子 |
| (2) CONTROL 端子 | (11) AUDIO IN 2 端子 |
| (3) MONITOR OUT 端子 | (12) REMOTE CONTROL 端子 |
| (4) COMPUTER IN 2 端子 | (13) HDMI OUT 端子 |
| (5) COMPUTER IN 1 端子 | (14) HDMI 1 ~ 4 端子 |
| (6) VIDEO 端子 | (15) USB TYPE B 端子 |
| (7) AUDIO IN 1 端子 | (16) USB TYPE A 端子 |
| (8) MIC 端子 | (17) USB TYPE A 端子 |
| (9) AUDIO OUT 端子 | |

準備と設置



- ▶電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ▶不安定な場所に置かないでください。ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となります。また、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。
- 不安定な場所や不安定な置き方をしないでください。
- 本書に記載のある場合を除き、本機に物を張り付けたり、置いたりしないでください。
- 取付金具やアクセサリーは、仕様に合ったものをご使用ください。アクセサリーの取扱説明書は、お読みになった後は大切に保管してください。
- 壁かけの際は、必ず設置作業を販売店またはサービス会社にご依頼ください。
- ▶容易に熱伝導があるものや可燃物の近くに設置しないでください。火災やけがの原因となります。
- 本機を鉄製スタンドに設置しないでください。
- ▶油を使用する場所に置かないでください。油煙などにより油が付着し、故障、火災や感電の原因となります。
- ▶液体が入ったり、液体で濡れる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 水を掛けたり、風呂場やシャワー室など水や雨、水滴の掛かる場所に置いたりしないでください。
- 屋外や窓の近くに使用しないでください。
- 本機の近くに液体が入った容器などを置かないでください。



警告

- ▶ 風通しがよく涼しい場所に設置してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。
- 熱源の近くや直射日光、温風が当たるところには置かないでください。
- エアコンの風やその他機器からの風が当たるところに置かないでください。
- 本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から30cm以上離して設置してください。
- 布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。
- 通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
- 本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります
- ▶ 湿気、ほこりの多いところ、タバコの煙や湯気などの当たるところに置かない。上記の場所に本機を置きますと、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。
- 加湿器の近くに置かない。超音波式加湿器などで、水道水に含まれる塩素やミネラル成分が霧化されて本機に付着すると、故障や映像不良の原因となることがあります。
- 喫煙所、キッチン、廊下や窓の側に置かないでください。

お知らせ

- 本機の近くで電波を発生する装置を使用すると、映像が乱れる原因となることがあります。近くで使用するのを避けてください。

他の機器と接続する

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。信号によっては、特定のアダプタが必要な場合や、本機では正しく表示できない場合があります。付属品の不足や破損の際は、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

本機や周辺機器を接続する前に、電源が切れていることを確認し、手順をもとに接続してください。以降のページをご参照ください。

本機のネットワーク機能についての詳細は、「取扱説明書 - 詳細版- ネットワーク編」をご参照ください。



警告

- ▶ アクセサリーは所定のものを使用する。仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。
- 本機の仕様に合うアクセサリのみをご使用ください。
- 本機や付属品の分解を改造しない。
- アクセサリは、損傷しているものを使用しないでください。アクセサリが壊れないよう扱いにご注意ください。接続したケーブル類は、挟まったりしないよう線引きをしてください。



注意

- ▶ ケーブルでフェライトコアが付いている側を本機に接続してください。

お知らせ

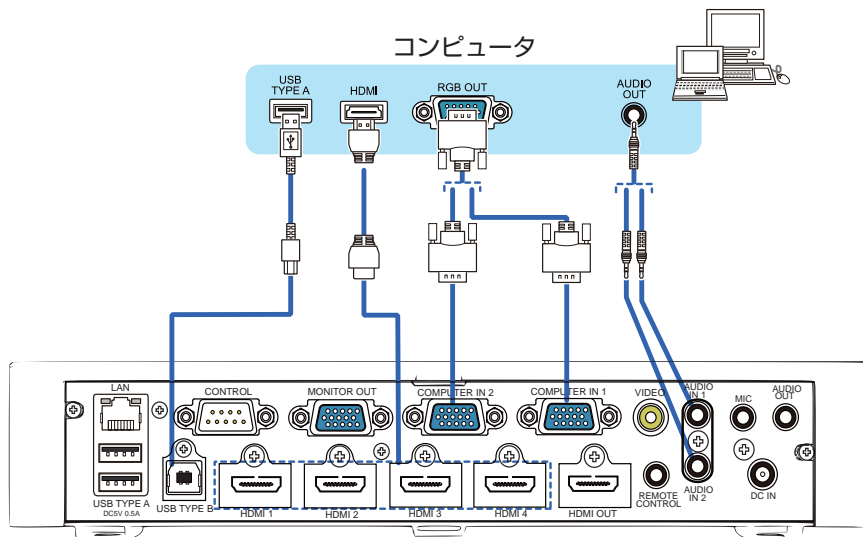
- 本書で記載が無い限り、接続されているプロジェクターが動作中に本機の電源をオン/オフしないでください。上記の操作を行いますと、誤動作を引き起こすことがあります。
- 使用状況にあわせて、入力端子の機能を設定できる入力端子もあります。
- 接続端子を正しい端子に接続してください。間違った接続で、本機もしくはプロジェクターに誤動作が起こります。
- 固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- 本機の各接続端子は凹んでいるため、ストレート型プラグのケーブルを使用してください。L型のケーブルは使用しないでください。

他の機器と接続する (つづき)

プラグ& プレイの対応について

- 本機はVESA DDC 2B に対応しています。本機をVESA DDC(Display Data Channel)対応のコンピュータに接続してご使用になると、プラグ& プレイを実現できます。プラグ& プレイは、コンピュータと、表示装置などの周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。
- 本機の**COMPUTER IN**端子とコンピュータを付属のコンピュータケーブルで接続してご使用ください。接続するコンピュータによってはプラグ&プレイが動作しない場合があります。
- 本機は「プラグ&プレイ・モニタ」として認識されます。このとき、ディスプレイドライバは、標準のものをご使用ください。

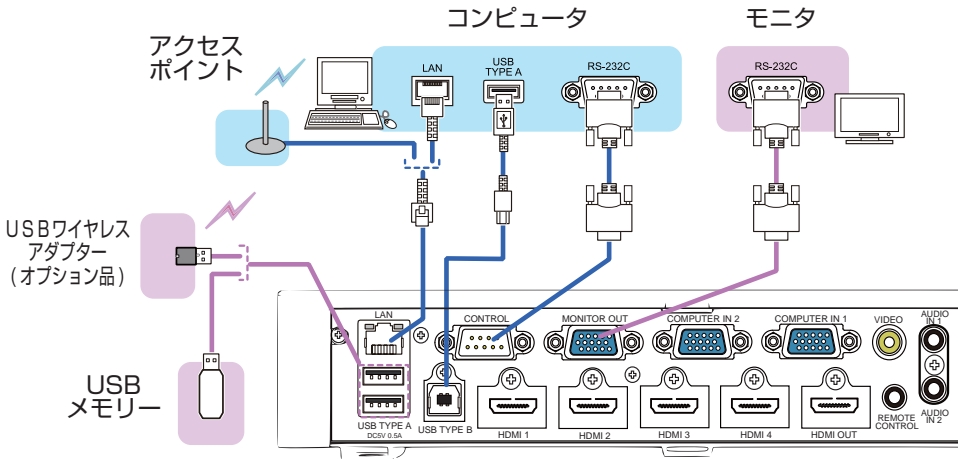
他の機器と接続する(つづき)



お知らせ

- 本機をコンピュータと接続する前に、コンピュータの対応信号、同期方法そして出力解像度をコンピュータの取扱説明書よりご確認のうえ接続してください。
- 本機への接続にアダプタが必要な場合があります。
- 複数の表示モードを持っているコンピュータでは、本機が対応していないモードを含む場合があります。
- 本機は、信号処理の過程で、入力信号の解像度を変換します。入力信号と映像処理機器の解像度が同じ時に最良となります。
- 入力信号によっては、本機の自動調整機能が正しく働かなかったり、映像を表示できなかったりすることがあります。
- 本機の自動調整機能が正しく働かなかった場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。

他の機器と接続する (つづき)



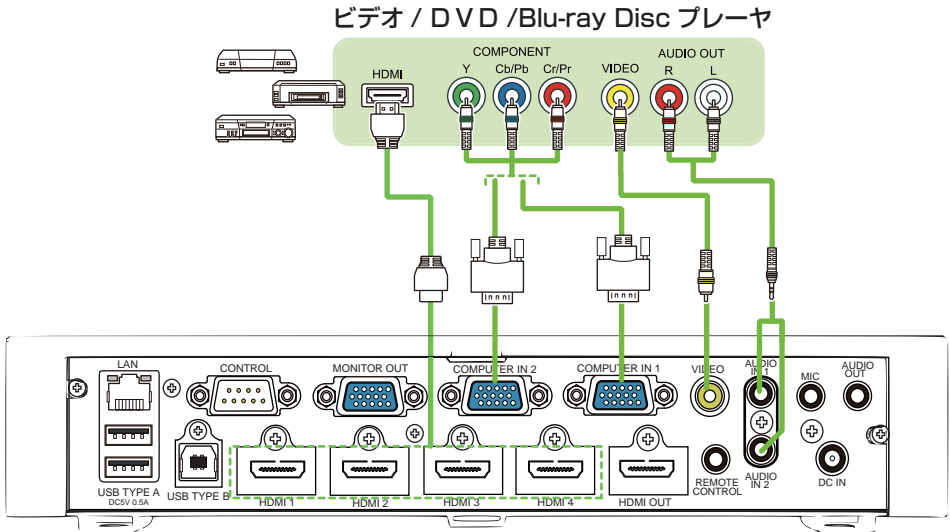
注意

- ▶ **LAN** 端子への接続は、事前にネットワーク管理者に相談してください。
- ▶ ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、**LAN** 端子に接続しないでください。
- ▶ 別売品のUSBワイヤレスアダプターは、本機のワイヤレスネットワーク機能を使用し通信が行えます。
- ▶ USBメモリーを外すには、「USB取り外し」機能を使用します。USBメモリーを外す前に、表示されるサムネイル画面の「USB取り外し」機能を必ず使用してください。USBワイヤレスアダプターの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
- ▶ USBワイヤレスアダプターを使用の際は、延長ケーブルを使用しないでください。USBワイヤレスアダプターを抜き差しの際は、本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから外してから行ってください。
- ▶ **LAN**端子と**USB**端子を両方で使用になるときは、フラットなLANケーブルをご使用ください。異なるケーブルを使用しますと、正しく接続できないかケーブルを破損するおことがあります。

お知らせ

- USB外部媒体のサイズが大きくて**LAN**端子へ接続を阻害する場合は、USB延長ケーブルを使用しUSB外部媒体を接続してください。

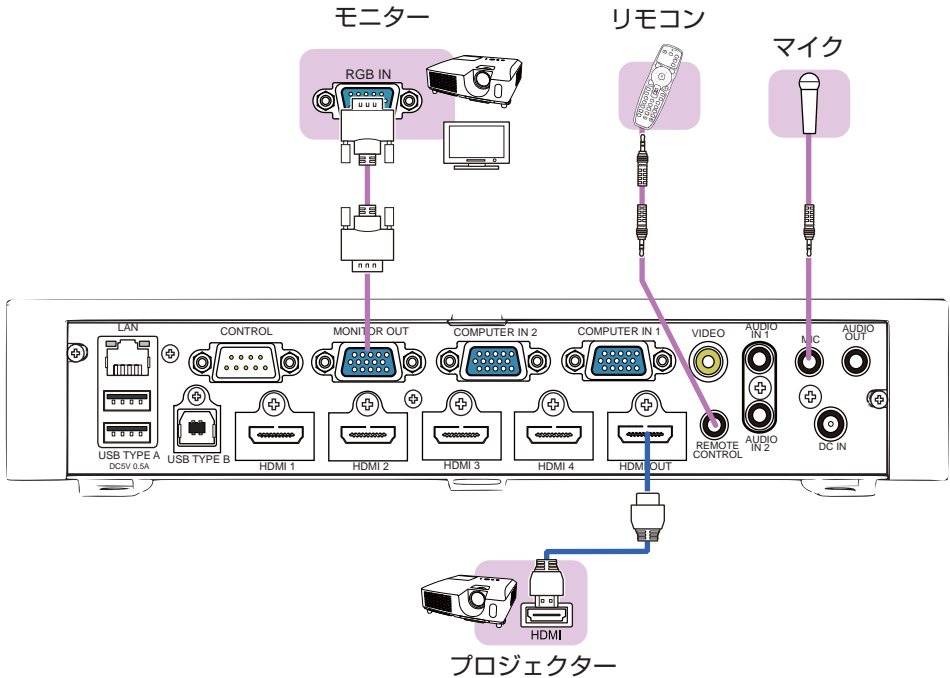
他の機器と接続する (つづき)



お知らせ

- 本機の**HDMI** 端子はHDCP (High-bandwidth Digital Content protection)に対応しています。
HDCP 対応のDVD プレーヤーなどのビデオ信号を表示することができます。
- 本機は、以下のHDMI 信号に対応しています。
ビデオ信号：480i@60, 480p@60, 576i@50, 576p@50, 720p@50/60, 1080i@50/60, 1080p@50/60
オーディオ信号：リニアPCM形式
周波数 48kHz / 44.1kHz / 32kHz
- 本機を**HDMI**端子のある周辺機器に接続できます。ただし、一部の機器では正しく動作しない場合があります。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをご使用ください。
- 本機に1080p@50/60の信号を入力するには、HDMIカテゴリー2のケーブルをご使用ください。
- DVI 対応機器を本機に接続する場合は、DVI-HDMI 変換ケーブルで本機の**HDMI** 端子に接続してください。

他の機器と接続する (つづき)

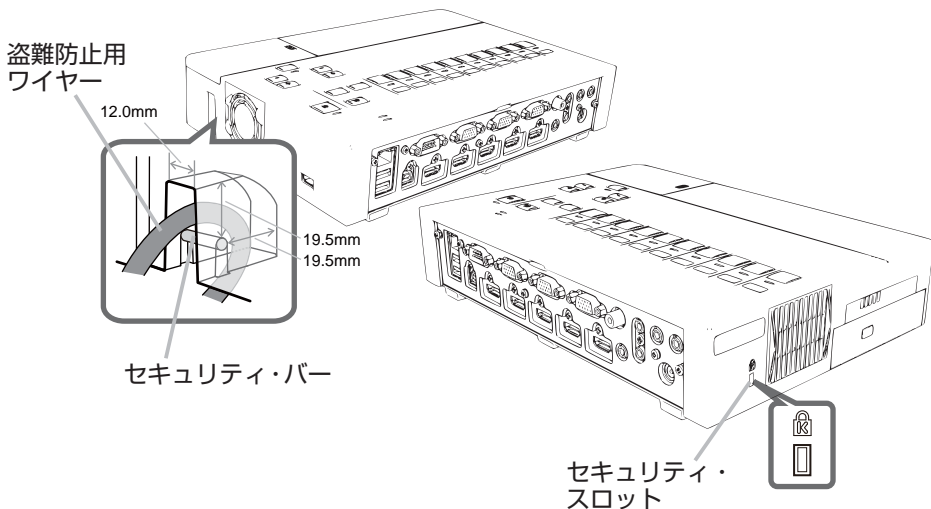


マイク機能

- **MIC**端子には、ダイナミック型のマイクをφ 3.5mm のミニプラグを使って接続することができます。MIC端子に、ワイヤレスマイクなどからのラインレベルの音声信号を入力する場合は、「オーディオ」メニューの「マイクレベル」を「高」に設定してください。ノーマルモードでは、本機操作パネルよりマイク音量の調整ができます。
- 本機の**MIC**端子は、プラグインパワーマイク(MIC端子から電源供給を受けるコンデンサー型マイク)には対応していません。

セキュリティ・スロット／バーを使う

本機は、市販の盗難防止用ロックをご使用になるためのセキュリティ・スロットと、盗難防止用ワイヤーやチェーンをご使用になるためのセキュリティ・バーを備えています。詳細はご使用になる盗難防止用ロック、盗難防止用ワイヤー／チェーンの説明書をご覧ください。



警告

▶ セキュリティ・スロットやセキュリティ・バーを、転倒・落下防止用などの本機を支える目的で使用する場合は、販売店にご相談ください。



注意

▶ 盗難防止用ワイヤー／チェーンを排気口の前や近くに置くと、高温になる場合があります。

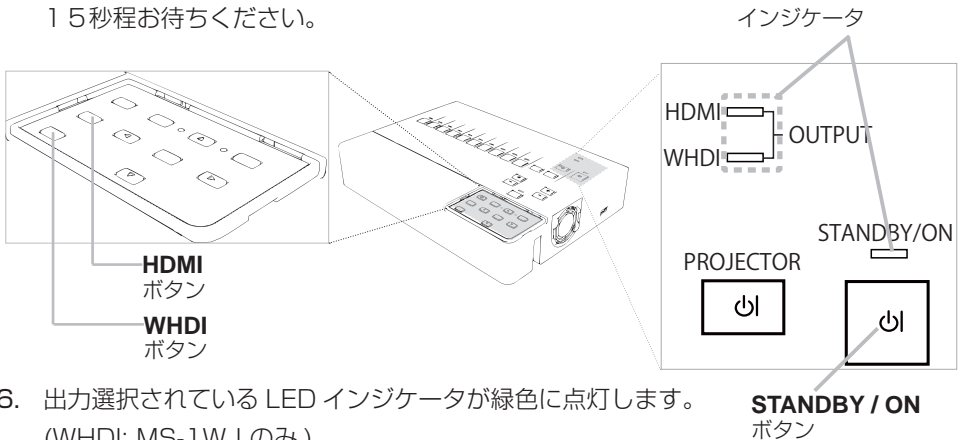
お知らせ

・本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

簡単設定

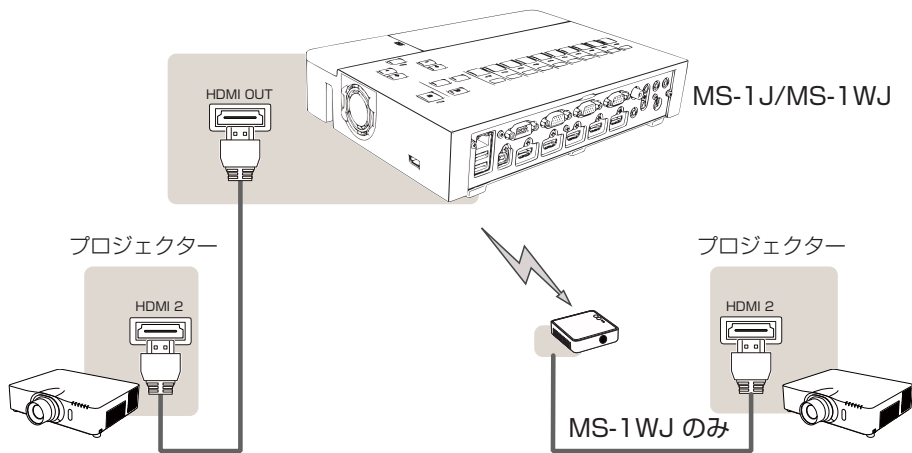
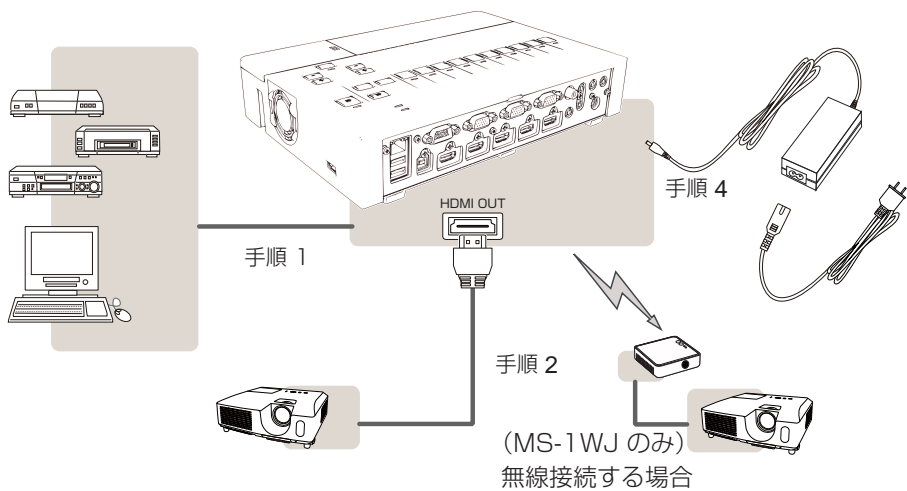
電源を入れる

1. 本機の入力端子と接続する周辺機器（例：DVD プレーヤー、ノートパソコン等）の出力端子を接続します。
2. 本機の **HDMI OUT** 端子をプロジェクター側の **HDMI** 入力端子に接続します。
(MS-1WJ のみ) 無線 HDMI 接続する場合は、受信機をプロジェクターと接続します。
([18](#))
3. プロジェクターの電源をオンします。
プロジェクターの入力信号を HDMI に設定します。
(MS-1WJ のみ) 無線 HDMI 接続する場合は、受信機の電源をオンします。
4. 同梱の AC アダプターを本機の DC IN に接続し、コンセントに接続します。
STANDBY / ON インジケータがオレンジ色に点灯します。
5. **STANDBY / ON** ボタンを押し、本機の電源を入れます。
STANDBY / ON インジケータが緑色に点灯します。
入力ボタンのインジケータが消灯中は、信号が出力されていません。
15 秒程お待ちください。



6. 出力選択されている LED インジケータが緑色に点灯します。
(WHDI: MS-1WJ のみ)
7. 本機と接続されている周辺機器の電源を入れます。

簡単設定 (つづき)



簡単設定 (つづき)

お知らせ

- HDMI/DVI 端子が複数あるプロジェクターの場合、必ず本機の出力は HDMI2 に接続してください。必ずプロジェクタの入力選択を HDMI2 にしてご使用ください。
- 本機の PJ INPUT キーで PJ の入力チャンネル切替を行った場合は、HDMI2 以外の HDMI/DVI 端子への切替はできません。
- プロジェクタ側の操作で信号を切り替えると、プロジェクタと本機との通信ができなくなる場合があります。この場合は接続をやり直し、HDMI2 を選択してご使用ください。



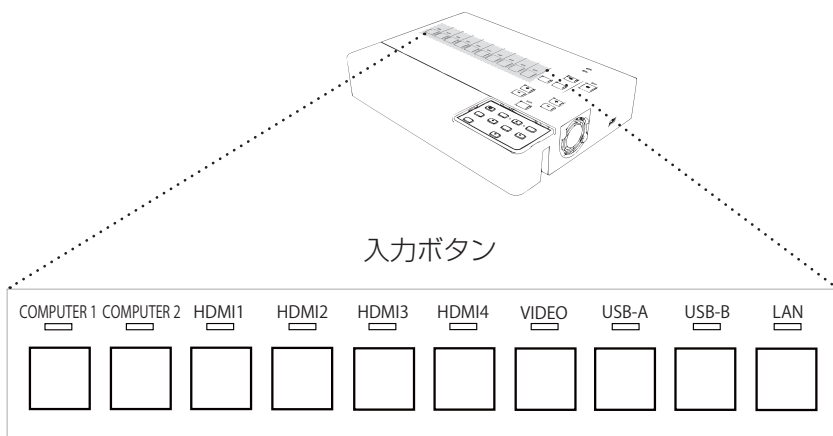
警告

- ▶ 電源プラグは、指定（本体に表示）の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用してください。電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。
- ぬれた手で電源コードや AC アダプタを取り扱わないでください。感電の原因となります。
- 本機に同梱されている電源コードは、傷や破損が無いことをご確認のうえ、必ず付属品をご使用ください。電源コードを改造しないでください。
- 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。
- たこ足配線はしないでください。火災や感電の原因となります。
- ▶ 使用中 USB ワイヤレスアダプター内部が高温となる場合があるので、やけど防止のため、電源ケーブルを外して 5 分以上、アダプターには触らないでください。

簡単設定(つづき)

入力信号を選ぶ

8. 操作パネルの入力ボタンから入力信号を押します。
選んだ入力ボタンのインジケータが点灯します。



お知らせ

- 本機の表示モードや、信号の種類（信号方式、解像度、周波数など）によっては、映像を表示できないことがあります。
- 入力ボタンの操作中に表示画面が乱れたり、一瞬黒い画面になることがありますが、この現象は故障ではありません。

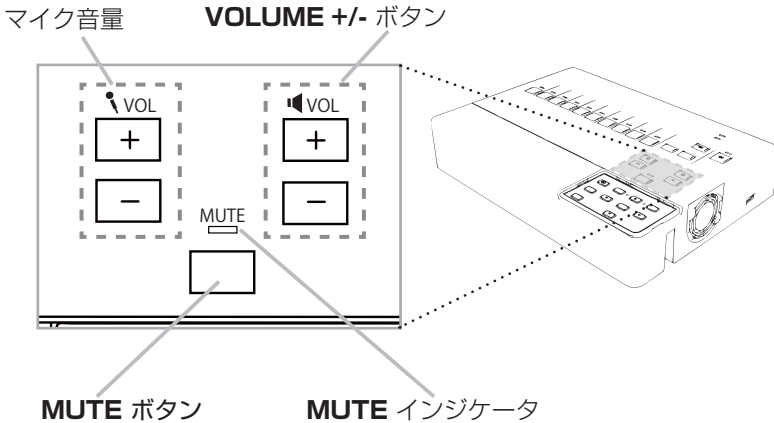
電源を切る

1. 本機と接続されている周辺機器の電源を切ります。
2. 本機の **STANDBY / ON** ボタンを押し、スタンバイ状態にします。
インジケータが橙色に点灯します。
3. 本機から AC アダプターを外し、コンセントからも AC アダプターを外します。

設定・調整

音量を調整する

1. VOLUME +/VOLUME - ボタンで音量の調整ができます。

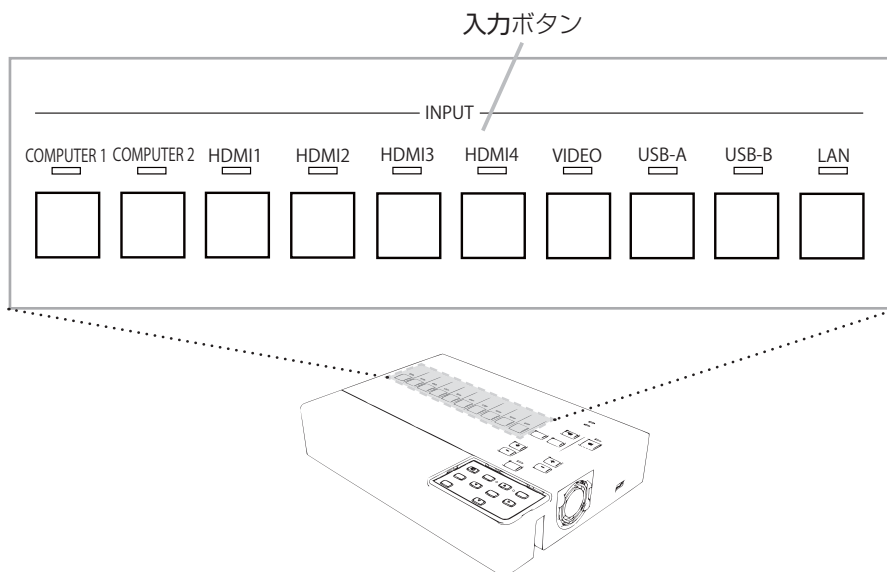


音声を消す

1. 本機の **MUTE** ボタンを押します。MUTE 中は、**MUTE** インジケータが赤色に点灯します。
音声を戻すには、**MUTE** ボタン、**VOLUME +** もしくは **VOLUME -** ボタンを押します。
- 「スクリーン」メニューの「C.C.」(49)で、「ディスプレイ」が「オート」に設定されている場合、C.C. 対応の、NTSC 方式のビデオ信号、または 480i@60 コンポーネントビデオ信号を受信しているときに **MUTE** ボタン を押すと、自動的に C.C. 機能が有効になります。

入力信号を選ぶ

1. 本機の入力ボタンを押します。



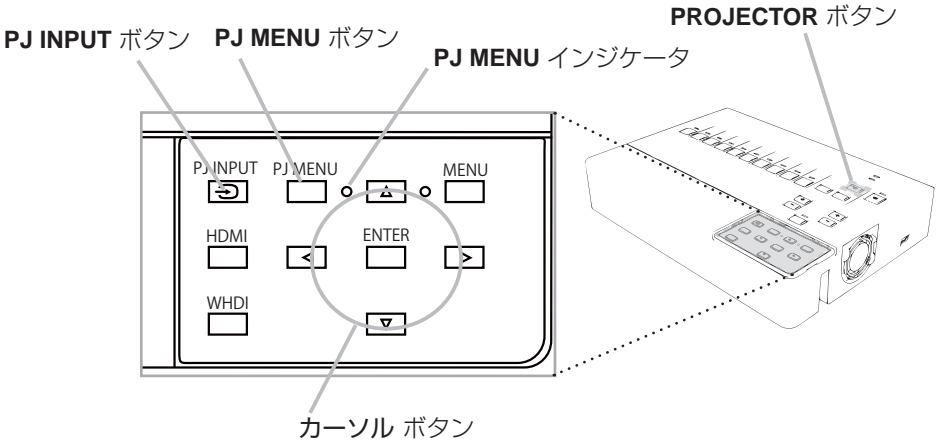
- **USB TYPE B** 端子からの入力信号は、表示するまでに数秒かかる場合があります。

プロジェクター操作

本機は、下図のボタンでプロジェクターの操作ができます。

お知らせ

- 全てのプロジェクターがこの機能をサポートしているわけではありません。
詳細は販売店にお尋ねください。



1. **PROJECTOR** ボタンを押すことで、プロジェクターの電源をオン / オフすることができます。
2. **PJ INPUT** ボタンを押すと、プロジェクターの入力端子を選択できます。
3. **PJ MENU** ボタンを押しますとプロジェクターメニューを表示できます。
PJ MENU インジケータが緑色に点灯します。

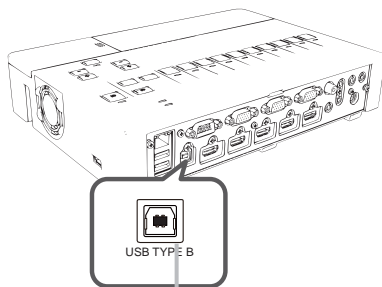
お知らせ

- 接続されているプロジェクターの設置メニューのスタンバイモードがセービングに設定の場合は、これらのボタンは操作できなくなります。

簡易マウス / キーボードとして使う

コンピュータの USB A 端子と本機の **USB TYPE B** 端子を接続し、オプションメニューの USB TYPE B の項目でマウスが選択されていますと、日立タブレットおよびコンピュータは、簡易マウス / キーボードとして機能します。

詳細は、日立タブレットの取扱説明書をご覧ください。



USB TYPE B 端子

お守りください

▶ 本機の **USB TYPE B** 端子は、コンピュータの USB(A) 端子以外には接続しないでください。簡易マウス / キーボード機能の間違ったご使用は、接続機器の破損の原因となることがあります。本機と接続する前に、ご使用になるコンピュータの説明書をよくお読みください。

お知らせ

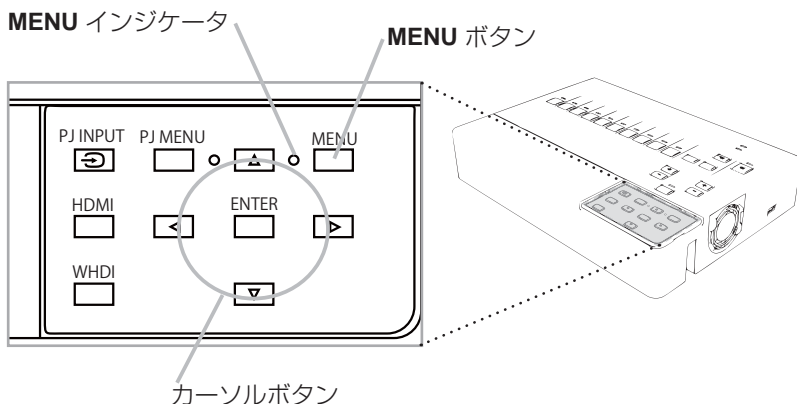
簡易マウス / キーボード機能が正しく動作しない場合は、以下の確認を行ってください。

- ノートパソコンなどで、トラックボールのようなポインティングデバイスが内蔵されている場合、本機の簡易マウス / キーボード機能をご使用になるには、あらかじめコンピュータの BIOS メニューで内蔵のポインティングデバイスを無効、外部マウスを有効に設定してください。設定については、ご使用になるコンピュータの説明書に従ってください。
- 本機の簡易マウス / キーボード機能は、Windows® XP SP3 以上の OS を搭載し、汎用 USB マウス / キーボードを使用できるコンピュータでご使用いただけます。ただしコンピュータの設定やマウスドライバによってはご使用になれない場合もあります。
- 本機の簡易マウス / キーボード機能では、2 つ以上のボタンやスイッチの同時操作は無効です。
- 本機の簡易マウス / キーボード機能は、以下の場合には無効です。
 - **USB TYPE A** 端子または **USB TYPE B** 端子からの映像信号を選択している。
 - ブランク画面、テンプレート画面、またはマイ イメージが表示されている。
 - メニューやダイアログなどが表示されている。
 - カーソルボタンで操作している。

メニュー機能の使い方

本機は以下のメニュー機能があります。

映像、表示、入力、設置、オーディオ、スクリーン、その他、ネットワーク
各メニューの操作は、どれも同じ方法で操作できます。下図をご参考に操作してください。



1. メニュー表示には、**MENU** ボタンを押してください。
MENU インジケータが緑色に点灯します。

2. メニュー

- (1) カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選んでください。
右側の表示になります。
- (2) カーソルボタン▶または**ENTER** ボタンを押すと、
選択カーソルが右側に移ります。操作したい項目を
カーソルボタン▲ / ▼で選択し、カーソルボタン▶
または**ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を
実行します。
操作するためのダイアログやサブメニューが表示されます。
- (3) 画面表示に従って操作してください。



メニュー機能の使い方（つづき）

3. メニューを終了したいときには、「終了」を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押してください。30秒ほど操作がない場合は、自動的に表示が消えます。

- 選択されている入力端子もしくは表示されている入力信号によって、いくつかの機能の操作ができない場合があります。
- メニューを操作中に前の表示に戻りたいときには、「戻る」を選択しカーソルボタン◀を押してください。

メニューやダイアログなどのオンスクリーン表示の単語について



表示	意味
終了	これを選択すると、メニュー操作を終了します。メニューボタンを押すことと同じになります。
戻る	これを選択すると、前のメニューに戻ります。
初期化しない／ いいえ	これを選択すると、現在の操作をキャンセルして、前のメニューに戻ります。
OK / はい	これを選択すると、用意された機能を実行するか、次のメニューに移行します。

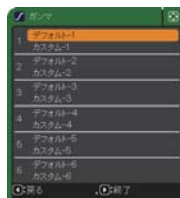
映像メニュー

「映像」メニューでは、表示中の映像設定について下表の項目を操作することができます。



設定項目	操作内容																								
明るさ	カーソルボタン◀ / ▶で、映像の明るさを調節できます。 暗く ⇄ 明るく																								
コントラスト	カーソルボタン◀ / ▶で、コントラストを調節できます。 弱く ⇄ 強く																								
映像モード	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、映像モードを選択できます。映像モードは、ガンマモードと色温度モードの組み合わせです。下表をご参考に、映像に合わせてお選びください。</p> <p>ノーマル ⇄ シネマ ⇄ ダイナミック ⇄ 黒板(黒) デイタイム ⇄ ホワイトボード ⇄ 黒板(緑)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>映像モード</th> <th>ガンマ</th> <th>色温度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノーマル</td> <td>デフォルト-1</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>シネマ</td> <td>デフォルト-2</td> <td>低</td> </tr> <tr> <td>ダイナミック</td> <td>デフォルト-3</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>黒板(黒)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-1</td> </tr> <tr> <td>黒板(緑)</td> <td>デフォルト-4</td> <td>ハイブライト-2</td> </tr> <tr> <td>ホワイトボード</td> <td>デフォルト-5</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>デイタイム</td> <td>デフォルト-6</td> <td>ハイブライト-3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ガンマモードと色温度モードの組み合わせが上記の映像モードと異なる場合、メニュー上の表示は「カスタム」と表示されます。「映像」メニュー (28,29) の「ガンマ」および「色温度」をご参照ください。 選択した瞬間に、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。 	映像モード	ガンマ	色温度	ノーマル	デフォルト-1	中	シネマ	デフォルト-2	低	ダイナミック	デフォルト-3	高	黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1	黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2	ホワイトボード	デフォルト-5	中	デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3
映像モード	ガンマ	色温度																							
ノーマル	デフォルト-1	中																							
シネマ	デフォルト-2	低																							
ダイナミック	デフォルト-3	高																							
黒板(黒)	デフォルト-4	ハイブライト-1																							
黒板(緑)	デフォルト-4	ハイブライト-2																							
ホワイトボード	デフォルト-5	中																							
デイタイム	デフォルト-6	ハイブライト-3																							

設定項目	操作内容
ガンマ	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、ガンマモードを選択できます。</p> <p>ガンマのカスタムモード調節手順</p> <p>カスタムモード（“カスタム”のつくモード）を選択し、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、調節メニューが表示されます。この機能を使うと、特定の階調の明るさを変更できます。</p> <p>カーソルボタン◀ / ▶で調節したい項目を選択し、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。</p> <p>カスタムモード調整メニューを表示している間にENTER ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンはENTER ボタンを押すたび以下のように変更できます。</p> <p style="text-align: center;"> パターンなし ⇄ グレイスケール (9 ステップ) ↘ ↙ ランプ波形 ⇄ グレイスケール (15 ステップ) </p> <p>お好みのパターンをお選びになり、これを参考に調節してください。8つの調節バーは、テストパターン(9ステップ)の最も暗い階調(左端)を除く8つの階調に対応しています。例えばテストパターン上の左から2番目の階調を調節したい場合、それに対応する「1」の調節バーを使用します。テストパターン左端の最も暗い階調は調節できません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">お知らせ</div> <ul style="list-style-type: none"> • 調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。



設定項目	操作内容
色温度	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、色温度を設定するための色温度モードを切り替えられます。色温度モードは、色温度を設定／調節するためのモードです。</p> <p style="text-align: center;">色温度のカスタムモード調節手順</p> <p>カスタムモード（“カスタム” のつく各モード）を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択したモードのオフセットとゲインを調節するメニューが表示されます。</p> <p>この調節機能を使うと、オフセット調節は、テストパターンの全階調の色温度を変更できます。またゲイン調節は、主にテストパターンの明るい階調の色温度を変更できます。</p> <p>カーソルボタン◀ / ▶で各色のオフセットまたはゲインを選び、カーソルボタン▲ / ▼でレベルを調節してください。</p> <p>カスタムモード調節メニューを表示している間に ENTER ボタンを押すと、右図のようなテストパターンが表示されます。テストパターンは ENTER ボタンを押すたび以下のように変更できます。</p> <p style="text-align: center;"> パターンなし ⇨ グレイスケール（9 ステップ） ↘ ↙ ランプ波形 ⇐ グレイスケール（15 ステップ） </p> <p style="text-align: center;">お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 調節した瞬間にノイズが発生することがありますが故障ではありません。



設定項目	操作内容
<p>色の濃さ</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、色の濃さを調節できます。</p> <p>淡く ⇄ 濃く</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目はビデオ信号、コンポーネントビデオ信号でのみ選択できます。 • HDMI信号では、以下のいずれかの条件でこの項目を選択できます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「入力」メニューの「HDMI フォーマット」を「ビデオ」に設定している場合。 (2) HDMI フォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合。
<p>色あい</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、色合いを調節できます。</p> <p>赤っぽく ⇄ 緑っぽく</p> <ul style="list-style-type: none"> • この項目はビデオ信号、コンポーネントビデオ信号でのみ選択できます。 • HDMI信号では、以下のいずれかの条件でこの項目を選択できます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「入力」メニューの「HDMI フォーマット」を「ビデオ」に設定している場合。 (2) HDMI フォーマットを「オート」に設定し、本機がフォーマットを「ビデオ」と認識した場合。

設定項目	操作内容
画質	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画質を調節できます。</p> <p>やわらかく ⇄ くっきり</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 調節した瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが、故障ではありません。
マイメモリー	<p>本機は 1 から 4 の番号のついた 4 つのメモリーを備えており、「映像」メニューの設定を最大 4 組まで記憶保存することができます。カーソルボタン▲ / ▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、選択した項目の機能を実行します。</p> <p>⇄ セーブ -1 ⇄ セーブ -2 ⇄ セーブ -3 ⇄ セーブ -4 ⇄ ⇄ ロード -4 ⇄ ロード -3 ⇄ ロード -2 ⇄ ロード -1 ⇄</p> <p>■セーブ操作 「セーブ -1」、「セーブ -2」、「セーブ -3」、「セーブ -4」を実行すると、対応する番号のメモリーに現在の「映像」メニューの全設定データを記憶します。 既にデータが記憶されているメモリーにセーブ操作を行うと、メモリーにデータが上書きされますのでご注意ください。</p> <p>■ロード操作 「ロード -1」、「ロード -2」、「ロード -3」、「ロード -4」を実行すると、対応する番号のメモリーからデータを呼び出し、そのデータに応じて映像を自動調整します。対応する番号のメモリーに設定データが記憶されていない場合は選択できません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ロード機能で、リンクメモリーにデータが無い場合はスキップされます。 ロード操作を行うと、メモリーに記憶されている設定が現在の設定に上書きされますので、ご注意ください。現在の設定を保存したいのであれば、ロード操作を行う前にセーブ操作を行ってください。 ロード操作を行った瞬間にノイズが発生したり、画面が一瞬消えたりすることがありますが故障ではありません。

設定項目	操作内容
垂直位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を上下に調節できます。</p> <p>下へ ⇄ 上へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 位置を動かすすぎると、画像のふちにノイズが現れることがあります。 • ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(M32) の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合は、調節できません。 • LAN 信号、USB TYPE A 信号、USB TYPE B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。
水平位置	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の位置を左右に調節できます。</p> <p>右へ ⇄ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 位置を動かし過ぎると画面のふちにノイズが現れることがあります。 • ビデオ信号を受信しているときの調節範囲は、「オーバースキャン」(M32) の設定に依存します。「オーバースキャン」が 10 に設定されている場合、調節できません。 • LAN 信号、USB TYPE A 信号、USB TYPE B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。

設定項目	操作内容
<p>クロック位相</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、クロック位相を調節し、画面のちらつきを低減できます。</p> <p>右へ ⇄ 左へ</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号を受信しているときのみ、調節が可能です。 • LAN 信号、USB TYPE A 信号、USB TYPE B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。
<p>水平サイズ</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、画面の横幅を調節できます。</p> <p>小さく ⇄ 大きく</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピュータ信号を受信しているときのみ調節が可能です。LAN 信号、USB TYPE A 信号、USB TYPE B 信号、HDMI 信号を受信している時は、調節できません。 • 大きくしすぎたり小さくしすぎたりすると、映像が正しく表示されない場合があります。 • 調整時に映像が劣化してみえる場合がありますが、故障ではありません。

設定項目	操作内容
オートアジャスト 実行	<p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画面の自動調整を実行できます。</p> <p>■コンピュータ信号を受信している場合 「垂直位置」(M33)、「水平位置」(M33)、「クロック位相」(M33)が自動的に調整されます。コンピュータで、アプリケーションのウィンドウを最大化表示して実行してください。また、暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。</p> <p>■ビデオ信号を受信している場合 「入力」メニューの「ビデオフォーマット」(M37)が「オート」に設定されていると、受信している信号に最適な信号方式が自動的に選択されます。 「垂直位置」「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。</p> <p>■コンポーネントビデオ信号を受信している場合 「垂直位置」、「水平位置」が自動的に初期設定に戻ります。「クロック位相」が自動的に調節されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。 また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。 ビデオ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、画面の端に線などが映る場合があります。 コンピュータ信号を受信している時に画面の自動調整を実行すると、コンピュータのモデルによっては画面の縁に黒いフレームが映る場合があります。 「その他」メニューの「特別な設定」-「オートアジャスト」で、「詳細」または「無効」が設定されていると、自動調整される項目が変わります。



入力メニュー




「入力」メニューでは、下表の項目を操作することができます。

設定項目	操作内容
<p>プログレッシブ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、プログレッシブモードを選択できます。</p> <p>TV ⇄ フィルム ⇄ オフ</p> <p>↑—————↑</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、ビデオ信号、コンポーネント信号または HDMI 信号のうち 480i@60、576i@50、または 1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 「TV」、「フィルム」を選択すると、より鮮明な映像になります。「フィルム」は 2-3 プルダウン変換システムに適應しますが、物体がすばやく移動するシーンで線がギザギザになるなど、表示に不具合があることがあります。このような場合には「オフ」を選択してください。
<p>ビデオ NR</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、映像ノイズの低減レベルを選択できます。</p> <p>強 ⇄ 中 ⇄ 弱</p> <p>↑—————↑</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、ビデオ信号、コンポーネント信号または HDMI 信号のうち 480i@60、576i@50、または 1080i@50/60 を受信している場合に動作します。 この機能により画質が劣化することがあります。その場合は「中」、「弱」を選択してください。

設定項目	操作内容
<p>色空間</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、色空間モードを選択できます。</p> <p>オート ⇄ RGB ⇄ SMPTE240 ⇄ REC709 ⇄ REC601</p>  <p>色空間モードは、色表示方式を設定するためのモードです。 「オート」を選択すると適切な色空間モードが自動的に設定されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、コンピュータ信号、コンポーネントビデオ信号（LAN 端子、USB TYPE A と USB TYPE B 端子からの信号を除く）、または HDMI 信号を受信しているときのみ、選択が可能です。 「オート」を選択すると適切なモードが自動的に選択されます。 信号によっては「オート」が正しく動作しない場合があります。このような場合には、「オート」以外で入力信号に合う設定を選択してください。
<p>ビデオフォーマット</p>	<p>VIDEO 端子から受信する映像信号の、ビデオフォーマット（信号方式）を設定できます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、設定する入力端子を選択します。</p>  <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。</p> <p>オート ⇄ NTSC ⇄ PAL ⇄ SECAM</p> <p>⇕ ⇕</p> <p>N-PAL ⇄ M-PAL ⇄ NTSC 4.43</p> <p>「オート」を選択すると、入力信号のビデオフォーマットが自動的に選択されます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、VIDEO 端子からの映像信号を受信しているときのみ動作します。 入力信号によっては正しく機能しない場合があります。画像が不安定な場合（画像が乱れる、色がつかないなど）には、オート以外で、入力信号に合った信号モードを選択してください。

設定項目	操作内容
<p>HDMI フォーマット</p>	<p>HDMI 端子から受信する映像信号のデジタルフォーマットが設定できます。 カーソルボタン▲/▼で、選択した端子から受信する映像信号のビデオフォーマットを選択してください。</p> <p>オート ⇄ ビデオ ⇄ コンピュータ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 「オート」：自動的にフォーマット判定 ■ 「ビデオ」：DVD 信号として映像処理を行います。 ■ 「コンピュータ」：コンピュータ信号として映像処理を行います。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「コンピュータ」を選択しているときは「色の濃さ」、「色合い」、「オーバースキャン」の調節はできません。
<p>HDMI レンジ</p>	<p>HDMI 端子から受信する映像信号のデジタル信号モードを選択できます。 カーソルボタン▲/▼で、デジタル信号モードを選択します。</p> <p>オート ↔ ノーマル ↔ 拡張</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 「オート」：自動的に入力信号レベルに合わせます。 ■ 「ノーマル」：DVD 信号レベル（16-235）に合わせます。 ■ 「拡張」：コンピュータ信号レベル（0-255）に合わせます。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 映像のコントラストが強すぎたり弱すぎたりするときに、この設定を切り替えると改善される場合があります。

設定項目	操作内容
<p>コンピュータ 入力</p>	<p>COMPUTER IN1 と COMPUTER IN2 端子から入力される映像信号（コンピュータ信号）の、信号受信モードを設定できます。 (1) カーソルボタン▲ / ▼で、COMPUTER IN 端子を選択します。 (2) カーソルボタン◀ / ▶で、映像信号を選択してください。</p> <p>オート ⇄ SYNC ON G オフ</p>  <p>「オート」モードに設定すると、その端子からの SYNC. ON G 信号、およびコンポーネントビデオ信号を受信できるようになります。COMPUTER IN 端子へのコンポーネントビデオ信号入力の接続については、(📖【取扱説明書 - 詳細 - 技術情報編】)を参照してください。 「オート」モードで映像が正しく表示されない、または正常な入力信号が検出されない場合には、「SYNC ON G オフ」モードに設定してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 正常な入力信号が検出されないときに「SYNC ON G オフ」モードに設定する場合は、一旦信号ケーブルを外して無信号の状態にし、「SYNC ON G オフ」に設定してから、信号を再入力してください。
<p>フレームロック</p>	<p>各端子から入力される映像信号の、フレームロック機能の有効 / 無効が設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、垂直周波数が 49 ~ 51Hz と 59 ~ 61Hz の信号を受信しているときのみ有効です。 「有効」に設定の場合は、動画を滑らかに表示することができます。正しく表示できない、機能していない場合は、リセットします。 <p>リセット方法は、MUTE ボタンを一回押し、MUTE+ENTER+FREEZE ボタンを同時に 3 秒間程押し続けます。</p> <p>リセット操作後、以下の項目が変更されます。 出力解像度が VGA に設定されます。 出力フォーマットが RGB に設定されます。 各端子のフレームロック設定が「無効」に設定されます。</p>

設定項目	操作内容
<p>解像度</p>	<p>COMPUTER IN1 と COMPUTER IN2 端子から入力される映像信号の解像度を設定できます。カーソルボタン▲ / ▼で設定したい解像度を選択します。</p> <p>■ 「オート」： 入力信号に適切な解像度が自動的に設定されます。</p> <p>■ 「標準」： 設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>■ 「カスタム」： 「カスタム」を選択すると、「解像度_カスタム」設定ダイアログが表示されます。カーソルボタンの◀ / ▶でカーソルを移動させながら、カーソルボタン▲ / ▼で、「水平」と「垂直」の解像度を入力してください。</p> <p>入力が終わりましたら、カーソルを「OK」に置き、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押してください。「解像度設定を変更しますか？」というメッセージが表示されます。変更した設定を保存するには、▶ボタンを押してください。設定された解像度に合わせて「水平位置」、「垂直位置」、「クロック位相」、「水平サイズ」が自動的に調整されます。</p> <p>設定を保存せずに以前の解像度に戻る場合は、カーソルを「取消」に置き、カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押してください。設定は変更されず、「解像度」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての解像度が保証されているわけではありません。信号によっては正しく動作しない場合があります。



設置メニュー

「設置」メニューでは、下表の項目を操作することができます。



設定項目	操作内容
<p>モニター出力</p>	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、表示中の出力信号を設定する、映像信号の入力端子を選択してください。 「オフ」を設定すると、その端子を選択中は、MONITOR OUT 端子から映像信号が出力されません。</p> <p>お知らせ</p> <p>•MONITOR OUT 端子から出力される信号は、COMPUTER IN 端子に入力された映像信号のみです。</p>

オーディオメニュー

「オーディオ」メニューでは下表の項目を操作することができます。



設定項目	操作内容										
音量	カーソルボタン◀ / ▶で、音量を調節できます。 小さく (-側) ⇔ 大きく (+側)										
音声入力設定	<p>音声信号の入力端子と映像信号の入力端子の組み合わせを設定します。</p> <p>(1) カーソルボタン▲ / ▼で、選択する映像信号の入力端子を選択してください。</p> <p>(2) カーソルボタン◀ / ▶で、選択した映像信号の入力端子に組み合わせる音声信号の入力端子を設定してください。</p> <p>アイコンは以下を示します。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">No.1: AUDIO IN1 端子</td> <td style="width: 50%;">No.2: AUDIO IN2 端子</td> </tr> <tr> <td>No.3: LAN 端子</td> <td>No.4: USB TYPE A 端子</td> </tr> <tr> <td>No.5: USB TYPE B 端子</td> <td>No.6: HDMI1 端子</td> </tr> <tr> <td>No.7: HDMI2 端子</td> <td>No.8: HDMI3 端子</td> </tr> <tr> <td>No.9: HDMI4 端子</td> <td>✖: 消音</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> • No.3から9の端子からの音声は、各 (映像) 端子にのみ選択できます。 • 「スクリーン」メニューの「C.C.」(M49) で「ディスプレイ」が「オート」に設定されているとき、かつ消音「✖」を選んだ場合は、自動的に C.C. 機能が有効となり、C.C. の入力信号を受信します。なお、この機能は、NTSC 方式のビデオ信号または COMPUTER IN1、COMPUTER IN2 に入力される 480i @ 60 を受信すると、自動的に C.C. 機能が有効になります。 	No.1: AUDIO IN1 端子	No.2: AUDIO IN2 端子	No.3: LAN 端子	No.4: USB TYPE A 端子	No.5: USB TYPE B 端子	No.6: HDMI1 端子	No.7: HDMI2 端子	No.8: HDMI3 端子	No.9: HDMI4 端子	✖: 消音
No.1: AUDIO IN1 端子	No.2: AUDIO IN2 端子										
No.3: LAN 端子	No.4: USB TYPE A 端子										
No.5: USB TYPE B 端子	No.6: HDMI1 端子										
No.7: HDMI2 端子	No.8: HDMI3 端子										
No.9: HDMI4 端子	✖: 消音										



設定項目	操作内容
マイクレベル	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、MIC 端子に接続するマイクの種類に合わせて、マイク音声の入カレベルを切り替えることができます。</p> <p>高 ⇄ 低</p> <p>アンプ内蔵マイクを接続する場合は、「高」を選択してください。</p>
マイク音量	<p>カーソルボタン◀ / ▶で、マイクの音量を調節できます。</p> <p>小さく (- 側) ⇄ 大きく (+ 側)</p>
リップシンク	<p>カーソルボタン▲ / ▼で遅延の音声を調整できます。</p> <p>オフ：リップシンクは無効となります。</p> <p>0 から 8 フレーム：音声の遅延分を調整します。</p> <p>0：デフォルト。遅延分を調整します。</p> <p>1 から 8：選択数字分を調整します。</p>





スクリーンメニュー




「スクリーン」メニューでは下表の項目を操作することができます。



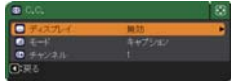
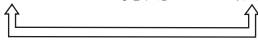
設定項目	操作内容
表示言語	カーソルボタン▲/▼で、メニュー表示言語を選択できます。 選択した表示言語を適用するには、 ENTER ボタンを押してください。
メニュー位置	カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、メニュー位置を調節できます。
ブランク	カーソルボタン▲/▼で、ブランク画面を選択できます。 「ブランク画面」は BLANK ボタンを押したときに投映される映像です。 <div style="text-align: center;"> 青 ⇄ 白 ⇄ 黒 ↑ ↓ ┌──────────────────┐ </div> 「青、白、黒」：各色の無地画面が表示されます。

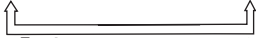

設定項目	操作内容
<p>メッセージ</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、メッセージモードを選択できます。</p> <p>表示する ⇄ 表示しない</p> <p>「表示する」を選択すると、以下のメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オート実行中」 ・「信号が入力されていません」 ・「信号は同期範囲外です」 ・「入力信号が不安定です」 ・「操作できないボタンが入力されました。」 ・「 検索中…」 ・「 信号検出中…」 ・入力切替による入力信号表示 ・「アスペクト」の変更による縦横比の表示 ・FREEZE ボタンを押したときの「静止」 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「表示しない」に設定したときは、FREEZE ボタンを押して映像を静止させても「静止」のメッセージが表示されません。映像の静止を解除するには、もう一度 FREEZE ボタンを押す必要があります。FREEZE ボタンを押して映像を静止させていることを忘れないようご注意ください。

設定項目	操作内容
<p style="text-align: center;">入力 チャンネル名</p>	<p>本機の入力端子に名前(チャンネル名)を割り当てることができます。</p> <p>(1) カーソルボタン▲/▼で、チャンネル名を付けたい端子を選択してください。</p> <p>(2) カーソルボタン▶を押すと、「入力チャンネル名」ダイアログが表示されます。以下の手順にしたがって、チャンネル名を登録してください。</p> <p>(3) 入力チャンネル名ダイアログで端子に割り当てたいアイコンを選択します。アイコンを選択するとそのアイコンに応じて端子の名称は自動的に切り換えられます。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと設定されます。</p> <p>(4) 端子のアイコンにつける番号を選択します。空白(番号未設定)、1、2、3、4から選択できます。</p> <p>(5) チャンネル名を決定するには、「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押します。</p> <p>変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀または ENTER ボタンを押します。端子の名称を変更したい場合は、「名称変更」を選択して、ENTER ボタンを押してください。チャンネル名入力ダイアログが表示されます。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;">     </div>

設定項目	操作内容
<p style="text-align: center;">入力 チャンネル名 (つづき)</p>	<p>(6) 最初の行（下線付き）に現在のチャンネル名が表示されます。名前をまだ指定していないときは、最初の行は空白です。カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、ENTER ボタンを押して入力してください。また、「全消去」で ENTER ボタンを押すと表示されている文字を全て削除することが出来ます。チャンネル名は最大 16 文字入力できます。</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-end;">    </div>

設定項目	操作内容
<p style="text-align: center;">入力 チャンネル名 (つづき)</p>	<p>(7) カーソルボタン▲ / ◀ / ▶で、チャンネル名が表示されている行の、変更 / 削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンを押して選択します。選択した文字を、チャンネル名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(8) チャンネル名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶ (またはENTER ボタン) を押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせて、カーソルボタン◀ (またはENTER ボタン) を押します。</p>
<p style="text-align: center;">テンプレート</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、テンプレート画面のパターンを選択できます。選択したテンプレート画面を表示させるには、カーソルボタン▶またはENTER ボタンを押してください。</p> <p>カーソルボタン◀で表示画面からパターン選択画面に戻ります。</p> <p style="text-align: center;">テストパターン ⇄ 点線 1 ⇄ 点線 2 ⇄ 点線 3</p> <p style="text-align: center;">⇕</p> <p style="text-align: center;">地図 2 ⇄ 地図 1 ⇄ 円 2 ⇄ 円 1 ⇄ 点線 4</p> <p>「地図 1」および「地図 2」では、地図を水平にスクロールしたり、上下をさかさまにすることができます。「地図 1」または「地図 2」を表示中にリモコン (別売品) のリセットボタンを 3 秒間以上押ししてください。</p>

設定項目	操作内容
<p>C.C. (Closed Caption)</p>	<p>クローズドキャプション (C.C.) は、ビデオやテレビ番組、ファイルなどの、音声情報やその他の付加的な文字情報を、表示ガイドや字幕などの視覚的な情報として画面に写す機能です。この機能をお使いいただくためには、C.C. に対応した、NTSC 方式のテレビ (ビデオ) 信号や 480i@60 コンポーネントビデオ信号が必要です。接続している機器や信号源によっては適切に働かない場合があります。この場合、C.C. を無効にしてください。</p> 
	<p>ディスプレイ カーソルボタン▲/▼で、クローズドキャプションの表示設定を切り替えられます。</p> <p>オート ⇄ 有効 ⇄ 無効</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■「オート」：音声がミュートになると、自動的にクローズドキャプションを表示します。 ■「有効」：クローズドキャプションを表示します。 ■「無効」：クローズドキャプションを表示しません。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面にメニュー表示が出ている間は、クローズド・キャプションは表示されません。 ・クローズドキャプション (C.C.) は、テレビ信号やその他のビデオ信号に含まれる対話やナレーションの内容、効果音等の情報を文字で画面に表示する機能です。本機能をお使いになるには、C.C. 機能に対応した映像信号が必要です。
	<p>モード カーソルボタン▲/▼で、クローズドキャプションの表示モードを選択できます。</p> <p>キャプション ⇄ テキスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「キャプション」：音声情報の字幕を表示します。 ■「テキスト」：報道内容や番組ガイド等の文字情報を、スクリーン全体を使って表示します。C.C. 機能に対応したすべての映像信号が「テキスト」に対応しているわけではありません。

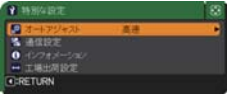

設定項目	操作内容
<p>C.C. (Closed Caption)</p>	<p>チャンネル カーソルボタン▲/▼で、クローズドキャプションの言語チャンネルを設定できます。</p> <p>1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4</p>  <p>■ 「1」：チャンネル 1 第一チャンネル / 主言語 ■ 「2」：チャンネル 2 ■ 「3」：チャンネル 3 ■ 「4」：チャンネル 4</p> <p>使用するチャンネル、言語は、ご覧になるビデオやテレビ番組などによって異なります。</p>
<p>出力 解像度</p>	<p>出力解像度の選択ができます。</p> <p>オート ⇄ 1024X768 ⇄ ⇄ 640x480</p>  <p>出力解像度が接続されている映像表示装置の解像度と異なる場合は、本設定の解像度を同じか「オート」に変更してください。出力解像度を変更された場合に以下のような現象が起こることがあります。</p> <p>USB TYPE A 端子で、静止画、もしくは動画を再生中に出力解像度を切替した場合は、サムネイル表示に戻ります。</p> <p>リセット方法は、MUTE ボタンを一回押し、MUTE+ENTER+FREEZE ボタンを同時に 3 秒間程押し続けます。</p> <p>リセット操作後、以下の項目が変更されます。</p> <p>出力解像度が VGA に設定されます。</p> <p>出力フォーマットが RGB に設定されます。</p> <p>各端子のフレームロック設定が「無効」に設定されます。</p>
<p>出力 フォーマット</p>	<p>出力フォーマットを AUTO、RGB そして YCbCr から選択します。</p>

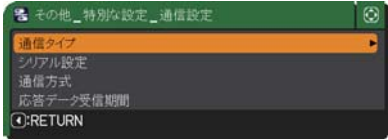
その他メニュー

「その他」メニューでは下表の項目を操作することができます。






設定項目	操作内容
<p>USB TYPE B</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、USB TYPE B 端子の用途を切り替えられます。</p> <p>マウス ⇄ USB ディスプレイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「マウス」：リモコンをコンピュータの簡易マウス／キーボードとしてご使用いただけます (M24)。 ■ 「USB ディスプレイ」：USB TYPE B 端子はコンピュータからの映像信号入力端子として機能します。 <p>本機の USB TYPE B 端子は、コンピュータの USB(A) 端子と接続してください (M12)。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB TYPE B 端子からの映像を表示するには数秒かかる場合があります。 • 以下の場合には、USB TYPE B 端子が映像入力端子として使用できないことを通知するメッセージが、表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - USB TYPE B 端子に映像信号が入力されているのに、「マウス」に切り替えた場合。 - この項目が「マウス」に設定されているのに、USB TYPE B 端子を映像信号の端子として使用しようとしている場合。

設定項目	操作内容
<p>特別な設定</p>	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶またはENTER ボタンを押すと、「特別な設定」メニューが表示されます。</p> 
	<p>オートアジャスト</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、画面の自動調整を実行する際に自動的に調整、あるいは初期設定に戻す項目を設定できます。</p> <p>詳細 ⇄ 高速 ⇄ 無効</p>  <p>自動的に調整される項目は、受信中の信号によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「詳細」：画面の自動調整を実行すると、各項目が自動的に調整されます。 ■「高速」：画面の自動調整を実行すると、自動的に調整される項目のうち、「水平サイズ」は初期設定に戻り、残りの項目は自動的に調整されます。 ■「無効」：画面の自動調整を実行すると、各項目が初期設定に戻ります。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力信号、信号ケーブル、接続機器の状態によっては正常に機能しない場合があります。その場合は、「無効」に設定してから、手で調整をお願いします。

設定項目	操作内容	
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>通信設定</p>	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「通信設定」メニューが表示されます。 「通信設定」メニューでは、CONTROL 端子を経由する通信の設定を行うことができます</p>  <ul style="list-style-type: none"> カーソルボタン▲ / ▼で設定したい項目を選択してください。カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、その項目のサブメニュー、またはダイアログが表示されます。 「通信タイプ」(M54) を「オフ」に設定していると「通信設定」メニューの、他の項目は選択できません。 詳細は、【取扱説明書 - 詳細版 - ネットワーク編】をご参照ください。

設定項目	操作内容	
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>通信設定 (つづき)</p>	<p>通信タイプ カーソルボタン▲/▼で、CONTROL 端子を経由する伝達通信タイプを選択できます。</p> <p>■「ネットワークブリッジ」：コンピュータから本機を経由して、外部機器をネットワーク端末として制御したい時に選択してください。詳細は、【取扱説明書 - 詳細 - ネットワーク編】 - (ネットワークブリッジ) をご参照ください。 ネットワーク接続方式にあわせて、無線か有線を選択してください。</p> <p>CONTROL 端子は RS-232C コマンドを受けても動作しません。</p> <p>■「オフ」：CONTROL 端子をコンピュータに接続して RS-232C 通信を行うときに選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。 「ネットワークブリッジ」を選択する時は、「通信方式」(P55) をご確認ください。

設定項目	操作内容	
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>通信設定 (つづき)</p>	<p>応答データ受信期間</p> <p>この項目は、「通信タイプ」に「ネットワークブリッジ」、「通信方式」に「半二重通信」が設定されているときのみ設定できます。</p> <p>カーソルボタン▲/▼で、外部機器からの応答待ち時間を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">オフ ⇄ 1s ⇄ 2s ⇄ 3s</p> <p style="text-align: center;">↑—————↑</p> <p>■ 「オフ」：コンピュータから連続してデータを送信することができます。送信先の外部機器からの応答データを確認しなくてもよい場合に選択してください。</p> <p>■ 1s/2s/3s：データ送信先の外部機器からの応答待ち時間を設定します。設定された時間は、CONTROL 端子からデータは送信されません。</p> <p style="text-align: center;">お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> このメニューは「通信タイプ」にて「ネットワークブリッジ」が選択されていて、かつ「通信方式」で「半二重通信」が選択されていることで、有効となります。 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。

設定項目	操作内容
<p>特別な設定 (つづき)</p>	<p>コントロールパネル カーソルボタン▲/▼で、カーソルの方向を選択できます。</p>   <p>ノーマル ↔ 上下左右反転</p>
	<p>インフォメーション この項目を選択すると「入力_インフォメーション」のダイアログが表示されます。このダイアログには現在受信中の映像信号についての情報が表示されます。</p>  <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • “フレームロック” と表示されている場合は、フレームロック機能 (M39) が動作していることを示します。 • 無信号と同期外れ状態では、この項目は選択できません。
	<p>工場出荷設定 カーソルボタン▶を押して、「OK」を選択すると、メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。</p> <p>初期化しない ⇨ OK</p>


ネットワークメニュー

本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。「メニュー機能の使い方」(P25) に従い、「ネットワーク」メニューを表示してください。「ネットワーク」メニューでは、下表の項目を操作することができます。カーソルボタン▲/▼で項目を選択し、カーソルボタン▶または **ENTER** ボタンを押すと、操作を開始または実行できます。下表およびメニュー表示に従って操作してください。ネットワーク機能の詳細については、【ネットワーク編】をご参照ください。



お知らせ

- 無線 LAN 接続には、別売品の USB ワイヤレスアダプターを使用する必要があります。ご使用の際は、延長ケーブルや他の機器を通してご使用にならないでください。
- 同じネットワーク上で接続されている有線と無線の LAN を同時に通信はできません。
- 有線と無線の LAN のネットワークアドレスを同じにしないようご注意ください。
- ご利用のネットワークが SNTP に非対応の場合、日時を設定する必要があります (P61, 67)。

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定	この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、無線 LAN 設定メニューを表示します。 
	カーソルボタン▲/▼で、ネットワーク通信システムのモードを選択します。コンピュータの設定に基づいて選択してください。 ADHOC ⇔ INFRASTRUCTURE 設定を保存するには、▶ボタンを押してください。 <ul style="list-style-type: none"> • ADHOC 選択の場合は、IEEE802.11 n はご使用できません。 • 暗号設定で WPA-PSK か WPA2-PSK のどちらかを選択しているときに、ADHOC を設定すると、(暗号設定が)自動的に OFF に切り替わります。

設定項目	操作内容	
無線 LAN 設定 (つづき)	<p style="text-align: center;">DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、DHCP のオン/オフを切り替えることができます。</p> <p style="text-align: center;">オン ⇄ オフ</p> <p>DHCP に対応していないネットワークに接続する場合は「オフ」を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。 • 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。
	<p style="text-align: center;">IP ADDRESS</p>	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、IP アドレスを入力します。</p> <p>この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p style="text-align: center;">お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 • IP アドレスに “0.0.0.0” は設定できません。



設定項目	操作内容	
無線 LAN 設定 (つづき)	SUBNET MASK	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力します。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。
	DEFAULT GATEWAY	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、デフォルトゲートウェイを入力します。デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p>
	DNS SERVER	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、DNS サーバーのアドレスを入力します。DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。</p>
	時差	<p>カーソルボタン▲/▼で、時差を入力します。ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。不確かな場合は IT 管理者にお尋ねください。時差を設定し終えたら、カーソルボタン▶を押すと、「無線 LAN 設定」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目を設定すると有線 LAN 設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。


設定項目	操作内容	
無線 LAN 設定 (つづき)	日付と時刻 の設定	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、年(西暦下2桁)、月、日、時、分を入力します。 接続したネットワークがSNTP対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目を設定すると有線設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。 本機は、SNTPが有効に設定されているとき、日付と時刻を時間サーバーから取得します。 この設定は、本機の電源を切ると、初期化されます。
	チャンネル	<p>カーソルボタン▲/▼、モードがADHOCに設定されている場合に使用する無線LANのチャンネルを選択してください。 コンピュータの設定に基づいて選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目は、ADHOCモードが選択されているときにのみ選択可能です。 INFRASTRUCTUREに設定されている場合は、自動的にチャンネルが割り当てられます。
	暗号方式	<p>カーソルボタン▲/▼で、暗号方式を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">WPA2-PSK(AES) ⇔ WPA2-PSK(TKIP) ⇕ ⇕ OFF WPA-PSK(AES) ⇕ ⇕ WEP 64bit⇔WEP 128bit⇔WPA-PSK(TKIP)</p> <ul style="list-style-type: none"> ADHOCモードに設定されているときに、WPA-PSKとWPA2-PSKは設定できません。 INFRASTRUCTUREモードに設定されているときに、TKIPもしくはWEPにしますとIEEE802.11nでは動作しません。 OFFもしくはAESに設定されていないときは、通信方式は自動的にIEEE802.11b/gへと設定されます。

設定項目	操作内容
無線 LAN 設定 (つづき)	<p>カーソルボタン▲/▼で、SSID を選択し、SSID メニューを表示させます。</p>  <p>デフォルト 1 ⇄ デフォルト 2 ⇄ カスタム 3</p>  <p>デフォルトを一つ選択し、▶ボタンまたは ENTER ボタンを押します。</p> <p>■ カスタム設定</p> <p>カスタムを選択し、▶ボタンもしくは ENTER ボタンを押します。</p> <p>カスタム SSID メニューが表示されます。</p> <p>(1) 最初の 2 行 (下線付き) に現在のカスタム SSID 名が表示されます。</p> <p>カスタム SSID の初期値は “wireless” です。</p>  <p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、各文字を選択し、ENTER ボタンを押して入力してください。また、カーソルを画面内の「消去」または「全消去」に移動させ、ENTER ボタンを押すと、1 文字または表示されている文字を全て削除することができます。SSID 名は最大 32 文字まで入力できます。</p>

設定項目	操作内容	
無線 LAN 設定 (つづき)	SSID (つづき)	<p>(2) 文字の変更は、カーソルボタン ▲/▼ を使用し、上二行にカーソルを移動させます。そして、カーソルボタン ◀/▶ で変更したい文字にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押して選択します。選択した文字を、本機名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>カーソルボタン ▲/▼ / ◀/▶ で、SSID 名が表示されている行の、変更/削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンを押して選択します。選択した文字を、SSID 名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(3) SSID 名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン ▶ か、ENTER ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン ◀ か、ENTER ボタンを押します。</p>

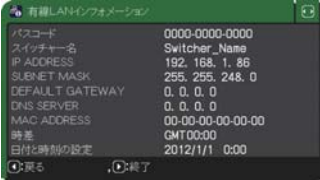


設定項目	操作内容
<p>無線 LAN インフォメーション</p>	<p>この項目を選択すると、無線 LAN の設定を確認 (表示) する、無線 LAN インフォメーションダイアログが表示されます。カーソルボタン▲ / ▼でページに切替ができます。</p> <p>最初のページは、無線 LAN の設定を表示します。</p> <p>2 ページまでは、無線 LAN の設定を表示します。</p> <p>3 ページ目以降は、無線 LAN 接続機器からの信号の情報を表示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • パスコードの詳細は、付属品 CD-ROM 「Wireless & Network software」内の「LiveViewer」をご参照ください。 • 本機名および SSID は設定されていない場合、空白で表示されま す。本機名は先頭から 16 文字が表示されます。 • IP アドレス、サブネットマスクそしてデフォルトゲートウェイは、 以下の条件で “0.0.0.0” と表記されます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本機に USB ワイヤレスアダプターが挿入されていない。 (2) DHCP が「オン」になっており、本機が DHCP アドレス を取得できない。 • USB アダプターが挿入されていない場合は、チャンネルと通信速 度は空白のままとなります。 • 無線設定メニューで設定した値ではなく、チャンネル項目に表示 される実際の値で動作しています。 • 本機に接続している機器の SSID の左には、(接続を示す) アイ コンが表示されます。

設定項目	操作内容	
有線 LAN 設定	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶ または ENTER ボタンを押すと、有線 LAN 設定メニューを表示します。</p> 	
	<p>DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)</p>	<p>カーソルボタン▲/▼で、DHCP のオン/オフを切り替えることができます。</p> <p>オン ⇄ オフ</p> <p>DHCP に対応していないネットワークに接続する場合は「オフ」を選択してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「DHCP」を「オン」に設定したときには、DHCP サーバから IP アドレスを取得するのに少々時間がかかります。 「DHCP」が「オン」に設定されているのに DHCP サーバから IP アドレスを取得できなかった場合には、自動的に IP アドレスが割り当てられます。
	<p>IP ADDRESS</p>	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、IP アドレスを入力します。</p> <p>この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> IP アドレスは、ネットワーク上で本機を識別するための数字です。同じネットワーク上で 2 台以上の装置が同じ IP アドレスを持つことはできません。 IP アドレスに“0.0.0.0”は設定できません。

設定項目	操作内容	
有線 LAN 設定 (つづき)	SUBNET MASK	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、ご利用のコンピュータと同じサブネットマスクを入力します。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> サブネットマスクに“0.0.0.0”は設定できません。
	DEFAULT GATEWAY	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、デフォルトゲートウェイを入力します。デフォルトゲートウェイは、ネットワークへのアクセスポイントとして機能するネットワーク上のノードです。この項目は「DHCP」が「オフ」に設定されているときのみ設定できます。</p>
	DNS SERVER	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、DNS サーバーのアドレスを入力します。DNS サーバーはネットワーク上のドメイン名と IP アドレスを対応させるシステムです。</p>

設定項目	操作内容	
有線 LAN 設定 (つづき)	時差	<p>カーソルボタン▲/▼で、時差を入力します。ご利用のコンピュータと同じ時差を設定してください。不確かな場合はIT 管理者にお尋ねください。時差を設定し終えたら、カーソルボタン▶を押すと、「有線 LAN 設定」メニューに戻ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目を設定すると無線 LAN 設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。
	日付と時刻 の設定	<p>カーソルボタン▲/▼/◀/▶で、年（西暦下2桁）、月、日、時、分を入力します。接続したネットワークが SNTP 対応の場合は、タイムサーバーから日付と時刻を受信すると設定が上書きされます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目を設定すると有線設定メニューの同項目が同じ設定に上書きされます。 本機は、SNTP が有効に設定されているとき、日付と時刻を時間サーバーから取得します。 この設定は、本機の電源を切ると、初期化されます。

設定項目	操作内容
<p>有線 LAN インフォメーション</p>	<p>この項目を選択すると、有線 LAN の設定を確認 (表示) する、有線 LAN インフォメーションダイアログが表示されます。</p>  <p>The screenshot shows a dialog box titled '有線LANインフォメーション' with the following settings:</p> <pre> パスコード 0000-0000-0000 スイッチャー名 Switcher_Name IP ADDRESS 192.168.1.86 SUBNET MASK 255.255.248.0 DEFAULT GATEWAY 0.0.0.0 DNS SERVER 0.0.0.0 MAC ADDRESS 00-00-00-00-00-00 時区 GMT0000 日付と時刻の設定 2012/1/1 0:00 </pre> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • パスコードの詳細は、付属品 CD-ROM 「Wireless & Network Software」内の「LiveViewer」のマニュアルをご参照ください。 • スイッチャー名および SSID は設定されていない場合、空白で表示されます。スイッチャー名は先頭から 16 文字が表示されます。 • IP アドレス、サブネットマスクそしてデフォルトゲートウェイは、DHCP が「オン」になっており、本機が DHCP アドレスを取得できない場合は、「0.0.0.0」と表記されます。

設定項目	操作内容
<p>スイッチャー名</p>	<p>(1) スイッチャー名を入力する</p> <p>最初の3行(下線付き)に現在のスイッチャー名が表示されます。スイッチャー名は、初期値として特定の名前が設定されています。カーソルボタン▲/▼/◀/▶で各文字を選択し、ENTER ボタンを押して入力してください。</p> <p>カーソルを画面上の「消去」または「全消去」に移動させ、ENTER ボタンを押すと、1文字または表示されている文字を全て削除することが出来ます。スイッチャー名は最大64文字まで入力できます。</p> <p>(2) スイッチャー名を編集する</p> <p>カーソルボタン▲/◀/▶で、スイッチャー名が表示されている行の、変更/削除する文字へカーソルを移動し、ENTER ボタンを押して選択します。</p> <p>選択した文字を、スイッチャー名を入力するときと同じ手順で編集してください。</p> <p>(3) スイッチャー名を保存する</p> <p>スイッチャー名の入力・編集が終わったら、一番下の行の「OK」にカーソルを合わせ、カーソルボタン▶か、ENTER ボタンを押します。変更を保存せずに入力を終えるには、「取消」にカーソルを合わせてカーソルボタン◀か、ENTER ボタンを押します。</p>



設定項目	操作内容
<p>マイ イメージ</p>	<p>マイ イメージ機能で転送された静止画像を、本機で表示できます。マイ イメージ機能を使用するには、専用のアプリケーションが必要です。日立のホームページからダウンロードしてご使用ください。ホームページの「サービス&サポート」欄から、画面表示に従って、ダウンロードできます。</p> <p>カーソルボタン▲ / ▼で、表示したい画像データを選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、画像を表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 静止画像を含まない項目は選択できません。 • 表示できる画像ファイル名は半角で 16 文字以内です。 <p>■ マイ イメージの削除</p> <p>画像表示中にリセットボタンを押すと、マイ イメージ消去確認ダイアログが表示されます。</p> <p>カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、表示している画像のファイルを、記録メディアから削除できます。削除したくない場合は、カーソルボタン◀を押してください。</p>
<p>AMX D.D. (AMX Device Discovery)</p>	<p>カーソルボタン▲ / ▼で、AMX デバイスディスカバリー (AMX DeviceDiscovery) の設定を行います。</p> <p>オン ⇄ オフ</p> <p>オンに設定すると、同じネットワークに接続した AMX コントローラで本機を検出できるようになります。AMX デバイスディスカバリー についての詳細は、AMX のホームページ URL:http://www.amx.com をご覧ください。</p>

設定項目	操作内容
プレゼンテーション	<p>この項目を選択してカーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「プレゼンテーション」メニューを表示します。</p> <p>お知らせ</p> <p>ネットワークプレゼンテーションには、専用のアプリケーション、「LiveViewer」が必要です。付属品 CD-ROM 「Wireless & Network Software」 からインストールしてください。また、日立のウェブサイト (http://www.hitachi.co.jp/proj/) から最新のバージョンと情報をダウンロードすることができます。ネットワークプレゼンテーションの詳細と「LiveViewer」のインストール方法は、付属品 CD-ROM 「Wireless & Network Software」 内の「LiveViewer」のマニュアルをご参照ください。</p>
	<p>本機をプレゼンターモードで使用し、1 台で占有しているコンピュータがある場合に、本機から強制的にプレゼンターモードを解除し、他のコンピュータからアクセスできるようにします。</p> <p>カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、プレゼンターモードを解除し、メッセージを表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • プレゼンターモードは、「LiveViewer」のオプションメニューで設定してください (📖【取扱説明書 - 詳細 - ネットワーク編】 - スイッチャー制御)。
	<p>ネットワークプレゼンテーションで、複数のコンピュータから本機に映像を送信している場合、シングル PC モードとマルチ PC モードの、2 通りの表示モードを選択することができます。表示モードの詳細については、【取扱説明書 - 詳細 - ネットワーク編】 - 「ネットワークプレゼンテーション」をご参照ください。</p> <p>表示モードを変更するには、以下の手順にしたがってください。表示されるダイアログは、本機に設定された表示モードによって異なります。</p>

設定項目	操作内容	
<p>プレゼンテーション (つづき)</p>	<p>マルチ PC モード (つづき)</p>	<p>■ マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替えるカーソルボタン▲ / ▼ / ◀ / ▶で、ダイアログ左の 4 分割画面から使用するコンピュータの映像を選択し、ENTER ボタンを押してください。カーソルボタン▶で「OK」を選択し、ENTER ボタンを押すと、選択したコンピュータの画面がフル画面で表示されます。</p> <p>■ シングル PC モードからマルチ PC モードに切り替えるカーソルボタン▶で「OK」を選択し、ENTER ボタンを押してください。マルチ PC モードに切り替ります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示モードをシングル PC モードに変更すると、選択されたコンピュータでのプレゼンターモード設定が有効になります。また、表示モードがマルチ PC モードに変更されると、プレゼンターモードの設定は、コンピュータの設定にかかわらず無効になります。



設定項目	操作内容	
<p>プレゼンテーション (つづき)</p>	<p>ユーザー名表示</p>	<p>この機能は、「ユーザー名表示」を選択し、カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押した時点で実行されます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、「ユーザー名」ダイアログが表示されます。このダイアログには、表示されている映像ごとにユーザー名が表示されます。表示されるダイアログは、本機に設定された表示モードによって異なります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザー名は、「LiveViewer」のオプションメニューで登録してください(📖【取扱説明書-詳細-応用編】)。
<p>特別な設定</p>	<p>ネットワーク設定を初期化して、再起動することができます。</p> <p>カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、リスタート確認ダイアログが表示されます。</p> <p>カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、ネットワークをリスタートします。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> リスタートを実行すると、ネットワークが一時切断されます。 「DHCP」(📖59)が「オン」に設定されていると、IP アドレスが変更される場合があります。 ネットワークリスタート実行後、「ネットワーク」メニューは約30秒間操作できなくなります。 	



プレゼンテーションツール

本機では、プレゼンテーションを簡単に、すばやく行うための以下の便利なツールをご利用頂けます。

- PC レス プレゼンテーション (📖 下記)

- 描画機能

描画機能は、**USB TYPE A** 端子に接続したペンタブレットや USB マウスを使って、画面上に描画する機能です。詳細は、周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

- USB ディスプレイ (📖87)

PC レスプレゼンテーション

USB TYPE A 端子からの映像信号を選択すると、PC レス プレゼンテーションを開始します。PC レス プレゼンテーションでは、本機の **USB TYPE A** 端子に挿入された USB メモリの画像データを、以下の 3 つの表示モードで表示させることができます。

- サムネイルモード (📖76)

- フルスクリーンモード (📖81)

- スライドショーモード (📖83)

[対応記録媒体]

• USB メモリ (USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダー)

お知らせ

- 複数のドライブとして認識される USB リーダー (アダプタ) は、正常に動作しない場合があります。
- セキュリティ USB メモリは正常に動作しない場合があります。
- USB メモリを挿入したり取外すときにはご注意ください。

[対応記録媒体フォーマット]

• FAT12, FAT16 and FAT32

お知らせ

- NTFS フォーマットには対応していません。

PC レスプレゼンテーション (つづき)

[対応ファイル形式]

- JPEG (.jpeg, .jpg) * プログレッシブエンコード JPEG には対応していません。
- Bitmap (.bmp) * 16bit、および圧縮形式の BMP には対応していません。
- PNG (.png) * インターレース PNG には対応していません。
- GIF (.gif) * 動画ファイルは再生できません。
- Movie (.avi, .mov) * 対応ビデオフォーマット: Motion-JPEG
対応オーディオフォーマット:
WAV (Linear PCM, Stereo 16bit), IMA-ADPCM

お知らせ

- 解像度が下記より大きい、または 36×36 より小さいファイルは表示されません。また、解像度が 100×100 より小さいファイルは表示されない場合があります。
1920 x 1080 (静止画), 768 x 576 (動画)
- フレームレートが 15fps を超える動画は、表示できません。
- ビットレートが 20Mbps を超える動画は、表示できません。
- 対応しているファイル形式でも、一部のファイルは表示できない場合があります。
- サムネイルモードで画像データの内容 (サムネイル画像) を表示できない場合は、枠のみ表示されます。

PC レスプレゼンテーション (つづき)

サムネイルモード

サムネイルモードでは、USB メモリに保存された画像をサムネイル表示し、画面の上下にサムネイルメニューが表示されます。1 画面に最大 20 の画像ファイルまたはフォルダを表示します。

PC レス プレゼンテーションは、サムネイルモードで開始されます。サムネイルモードからは、フルスクリーンモード、およびスライドショーモードに移ることができます。

USB TYPE A 端子を入力信号として選択後、PC レス プレゼンテーションは、サムネイルモードで開始されます。



サムネイルモードの操作

サムネイルモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン		機能
操作パネル	Web コントロール	
▲/▼/◀/▶	[▲][▼][◀][▶]	カーソルを移動します。
-	[PAGE UP] [PAGE DOWN]	ページを切り替えます。
ENTER	[ENTER]	<ul style="list-style-type: none"> ・フォルダを選択していた場合は、フォルダを開き、フォルダ内のファイルやフォルダをサムネイル表示します。 ・サムネイル画像を選択していた場合は、画像をフルスクリーンモードで表示します。 ・画像番号を選択していた場合は、画像の設定メニューを表示します (78)。

PC レスプレゼンテーション (つづき)

画像の設定メニュー


設定項目	操作内容
設定	
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
スタート	カーソルボタン◀/▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最初の画像になります。(F83).
ストップ	カーソルボタン◀/▶でオンに設定すると、選択した画像がスライドショーの最後の画像になります。(F83).
スキップ	カーソルボタン◀/▶でオンにすると、選択した画像はスライドショーモードでは表示されなくなります。(F83).
回転	カーソルボタン▶または ENTER ボタン を押すと、選択された画像が90度時計回りに回転します。(F83).

PC レスプレゼンテーション（つづき）

サムネイルメニュー



サムネイル画面の上下に表示される、サムネイルメニューから、PC レス プレゼンテーションを操作することができます。

カーソルボタンで各項目を選択し、**ENTER** ボタンを押してください。

設定項目	操作内容
	上位のフォルダに移動します。
並び替え	ファイルやフォルダを並び替えます。
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。
名称昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、名称の昇順に並べ替えます。
名称降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイル名称の降順に並べ替えます。
日付昇順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の昇順に並べ替えます。
日付降順	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すと、ファイルの日付の降順に並べ替えます。
▲ / ▼	スライドショーを設定、または開始します。

PC レスプレゼンテーション (つづき)

サムネイルメニュー (つづき)

設定項目	操作内容
スライドショー	スライドショーを設定、または開始します。
戻る	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとサムネイル画面に戻ります。
プレイ	カーソルボタン▶または ENTER ボタンを押すとスライドショーを開始します。
スタート	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを開始する画像番号を設定します。
ストップ	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーを終了する画像番号を設定します。
インターバル	カーソルボタン◀ / ▶で、スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間 (1s ~ 999s) を設定します。
プレイモード	スライドショーの再生モードを設定します。
入力	PC レス プレゼンテーションを終了し、映像信号の入力端子を USB TYPE B 端子に切り替えます。
メニュー	本機のメニューを表示します。
USB メモリ取外し	本機から USB メモリを取り外すときに使用します。カーソルボタン▶を押して「OK」を選択すると、安全に USB メモリを取り外せるようになります。 一旦「USB メモリ取外し」を実行すると、再度 USB TYPE A 端子に USB メモリを挿入するまで、本機は、USB メモリを認識しなくなります。
 / 	ファイルに音声データが含まれている場合に、音のオン/オフを切り替えます。

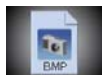
PC レスプレゼンテーション (つづき)

お知らせ

- 本機のお他のメニューが表示されている間は、サムネイルメニューは操作できません。
- 1 画面に最大 20 の画像ファイルまたはフォルダを表示します。
- 動画に含まれる音声データを再生すると、画質が落ちることがあります (カタカタしたりコマが飛んだりする)。画質を優先する場合は、♪ (の操作) で音声を切ってください。
- ファイルに問題があり、画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイル画像の代わりに、以下のエラーアイコンを表示します。



————— ファイルが破損しているか、対応していない形式が使われています。



サムネイル画像を表示することができないファイルは、ファイル形式アイコンで表示します。

PC レスプレゼンテーション (つづき)

フルスクリーンモード

フルスクリーンモードでは、本機の画面いっぱい1つの画像を表示します。
 フルスクリーンで表示するには、サムネイル画面で画像を選択し、Web コントロールの
 リモートコントロールでENTER をクリックしてください。



} フルスクリーン表示

フルスクリーンモードの操作

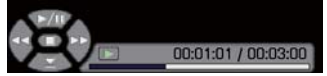
フルスクリーンモードでは、操作パネル、リモコン、WEB コントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン		機能
操作パネル	Web コントロール	
▼ or ▶	[▼] [▶] or [PAGE DOWN]	次の画像を表示します。
▲ or ◀	[▲] [◀] or [PAGE UP]	前の画像を表示します。
ENTER	[ENTER]	サムネイルモードに戻ります

PC レスプレゼンテーション (つづき)

フルスクリーンモードでの動画の操作

フルスクリーンモードで動画の再生中に、カーソルボタン、**ENTER** ボタン、入力ボタンのどれか、または WEB リモコンのカーソルボタン、または [決定] ボタンを押すと、右の



ような動画操作パネルが画面に表示されます。動画操作パネルが表示されている間は、操作パネル、WEB リモコンの各ボタンで、以下の様に動画の再生を操作することができます。

操作ボタン		機能
操作パネル	WEB リモコン	
▲	[▲]	(再生) / (一時停止) を切り替えます
▶	[▶]	(FF) 早送り
◀	[◀]	(REW) 巻戻し
ENTER	[決定]	(停止), サムネイルモードに戻ります
-	[PAGE DOWN]	次の画像を表示します
-	[PAGE UP]	前の画像を表示します

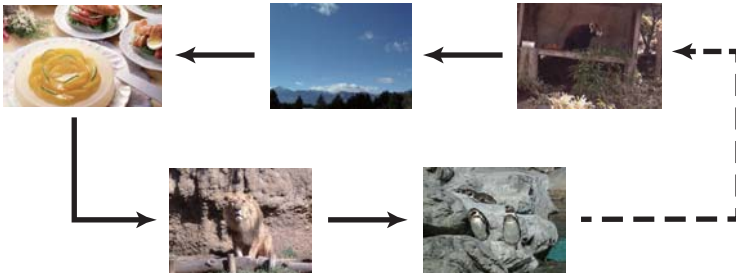
お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。

PC レスプレゼンテーション (つづき)

スライドショーモード

スライドショーモードでは、1つのフォルダに保存された一連の画像を、フルスクリーン表示で、順ぐりに表示します。スライドショーでは、サムネイル画面で表示される、画像番号の順に画像が表示されます。



スライドショーモードの操作

スライドショーモードでは、操作パネル、WEBコントロールのリモートコントロールの各ボタンで以下の操作が可能です。

操作ボタン		機能
操作パネル	Web コントロール	
ENTER	[ENTER]	サムネイルモードに戻ります

お知らせ

- 上記の操作は、本機のメニュー画面表示中は実行できません。
- 「プレイモード」(84) が「ワнтаイム」に設定されていると、スライドショーが終了すると、ENTER ボタンが押されるまで、最後の画像を表示し続けます。

PC レスプレゼンテーション (つづき)

スライドショーは、好みの設定が可能です。サムネイルにてスライドショーの設定ができます。

- 1) 戻る : サムネイルモードに戻ります。
- 2) プレイ : スライドショーを再生します。
- 3) スタート : スライドショーで最初に表示する
画像番号を指定します。
- 4) ストップ : スライドショーで最後に表示する
画像番号を指定します。



- 5) インターバル : スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間を、1 ~ 999(秒)の範囲で指定します。「インターバル」を数秒間と短く設定すると、画像ファイルのサイズが大きい、画像の保存されているフォルダが深い、同じフォルダに保存された画像ファイルが多いなどの場合、ファイルの読み込みに、設定した時間より長くなる場合があります。
- 6) プレイモード : スライドショーの再生モードを指定します。
ワнтаイム : スライドショーを 1 回再生します。
エンドレス : スライドショーをエンドレスで再生します。

PC レスプレゼンテーション (つづき)

プレイリストは、表示される画像ファイルとその表示設定を決める、DOS 形式のテキストファイルです。

プレイリストのファイル名は "playlist.txt" です。プレイリストは、PC レス プレゼンテーションを開始したとき、またはスライドショーを設定したときに選択していた画像ファイルがあるフォルダに自動的に作成されます。

[プレイリストの記述例]

START 2: STOP 5: INTERVAL 3: MODE 0:

001.jpg :rot1 :: ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは表示されません

002.jpg :600 :: ←スライドショーで最初に 0.6 秒間表示されます。

003.jpg :700 :rot1 :: ←時計方向に 90 度回転、スライドショーでは 0.7 秒間表示されます。

004.jpg ::SKIP: ←スライドショーでは表示されません

005.jpg :rot2 :: ←180 度回転、スライドショーで最後に 3 秒間表示され、
002.jpg に戻ります。

006.jpg :100 :rot2 :: ←スライドショーでは表示されません。

プレイリストの記述の順番、内容は、以下の通りです。

それぞれの情報は「:」で区切られます。また、各行の最後にも「:」が必要です。

二行目以降は、1 ファイルにつき 1 行で記述します。

1 行目	START * :STOP * :INTERVAL * :MODE * :
2 行目	[ファイル名]:[表示期間]:[回転設定]:[スキップ]:
:	:
:	:
:	:

PC レスプレゼンテーション (つづき)

START (「スタート」)、STOP (「ストップ」)、INTERVAL (「インターバル」)、MODE (「プレイモード」)、回転設定 (「回転」)、スキップ (「スキップ」) は、画像の設定メニュー (☰77)、またはサムネイルメニュー (☰78) で設定できます。

- START * : スライドショーで最初に表示する画像番号を指定します。
- STOP * : スライドショーで最後に表示する画像番号を指定します。
- INTERVAL * : スライドショーでの画像 1 枚あたりの表示期間を、1 ~ 999(秒) の範囲で指定します。
- MODE * : スライドショーの再生モードを指定します。
0 = ワンタイム 1 = エンドレス
- [表示期間] : スライドショーでの表示期間を個別に指定します。
0 ~ 999900(ミリ秒) の範囲で、100 ミリ秒単位で指定します。
- [回転設定] : 画像の回転を設定します。
rot1 = 時計方向に 90 度回転 rot2 = 180 度回転
rot3 = 時計方向に 270 度回転
- [スキップ] : SKIP を設定すると、スライドショーで表示されません。

お知らせ

- プレイリストの 1 行に書ける文字数は、改行コードを含めて 255 文字までです。これを超えるとプレイリストは無効になり、プレイリストのエラーで表示できなくなります。
- プレイリストに登録できる画像ファイルは最大で 999 個です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルに登録します。フォルダ内にフォルダがある場合は、最大ファイル数はフォルダの数の分少なくなります。
- USB メモリが保護されているか、十分な空き容量が無い場合はプレイリストを作成できません。
- スライドショー設定は、スライドショーモードをご参考ください。 (☰83)。

USB ディスプレイ (Windows コンピュータ)

本機は USB ケーブルを介してコンピュータの画面を本機に転送、表示することができます。

コンピュータに必要なハードおよびソフトの必要条件

- OS : Windows® XP Home Edition / Professional Edition (32bit 版のみ)
Windows Vista® Home Basic / Home Premium / Business /
Ultimate / Enterprise (32bit 版のみ)
Windows® 7 Starter / Home Basic / Home Premium / Professional
/ Ultimate / Enterprise (32bit 版のみ)
- CPU : Pentium® 4 (2.8GHz 以上)
- メモリ : 512MB 以上
- ハードディスク空き容量 : 30MB 以上
- グラフィックインタフェース : 16bit、XGA 以上
- USB(A) 端子
- USB ケーブル : 1 本

USB ディスプレイの開始手順

本機の **USB TYPE B** 端子とコンピュータの USB(A) 端子を USB ケーブルで接続します。「その他」メニューの「USB TYPE B」(M51) を「USB ディスプレイ」に設定します。

USB TYPE B 端子からの映像信号を選択してください。コンピュータが本機を CD-ROM ドライブとして認識し、本機内のアプリケーション、「LiveViewer Lite for USB」が自動的に起動してコンピュータ画面の送信を開始します。「LiveViewer Lite for USB」が起動すると、コンピュータのタスクトレイにアイコンが表示されます。

お知らせ

- "LiveViewer Lite for USB" が自動的に起動しない場合は、以下の手順に従ってください。
 - (1) [スタート]メニューから、[ファイル名を指定して実行] を選択します。
 - (2) E:\LiveViewerLiteForUSB.exe と入力し、[OK] をクリックします。
 - ↑ コンピュータで CD-ROM ドライブが F ドライブでない場合は、F の代わりに CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブ文字を入力してください。
- スクリーンセーバー動作中は、「LiveViewer lite for USB」が自動的に起動しません。
- パスワード保護のかかったスクリーンセーバーが働くと、本機へのコンピュータ画面の送信は停止します。送信を再開するには、スクリーンセーバーを終了させてください。
- USB ケーブルが接続されているにもかかわらず" 接続待ち状態です。" 表示が続く場合には、USB ケーブルを一度抜いて、しばらくしてから再度接続し直して下さい。
- "LiveViewer Lite for USB" は、日立のホームページで最新版を入手してください。
 日立ホームページ URL: <http://www.hitachi.co.jp/proj/>
 ホームページ内のアップデートに関する指示に従って、インストールしてください。

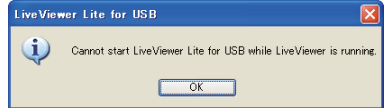
USB ディスプレイ (Windows コンピュータ) (つづき)

アプリケーションが開始し、右のように表示されます。
終了するには、コンピュータからメニューの“終了”を選択します。



お知らせ

- “LiveViewer” と USB ディスプレイは、同時に使用できません (ネットワークガイド編を参照)。“LiveViewer” が動作中に本機を USB ケーブルでコンピュータに接続しますと右のように表示されます。
- ご使用のコンピュータにインストールされているソフトウェアによっては、“LiveViewer Lite for USB” でコンピュータ画面を転送できないことがあります。
- ファイアウォール機能を備えたアプリケーションをインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を解除してください。
- セキュリティソフトの種類によっては、画面の送信がブロックされることがあります。その場合は、“LiveViewer Lite for USB” の使用を許可するよう、セキュリティソフトの設定を変更してください。
- **USB TYPE B** 端子から音声信号を選択しているときに、本機で音量 (設定) を最大まで上げてもまだ音量が小さい場合は、ご使用のコンピュータから音声が出力されているか確認したうえで、コンピュータの音量を上げてください。
- **HDMI** 端子の搭載されたコンピュータをご使用の場合、USB ディスプレイ表示中に HDMI ケーブルの挿入 / 抜去を行うと、コンピュータのオーディオ設定が変更され、音声の乱れや途切れが発生する場合があります。その場合は USB ディスプレイを再起動してください。
- USB ディスプレイ表示中に LAN (無線もしくは有線) に LiveViewer 接続を行うと画像や音声の途切れが発生することがあります。特に複数台のコンピュータを LiveViewer 接続する場合には、上記のパフォーマンス低下が目立つことがあります。



USB ディスプレイ (Windows コンピュータ) (つづき)

右クリックメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると右のようなメニューが表示されます。



表示 : フローティングメニューを表示します。タスクトレイのアイコンは表示されなくなります。

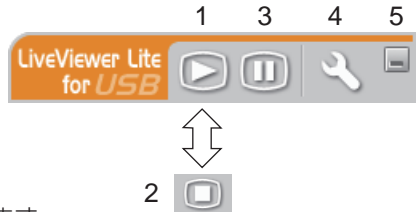
終了 : "LiveViewer Lite for USB" を終了します。

お知らせ

- "LiveViewer Lite for USB" を終了するには、USB ケーブルを差し直してください。

フローティングメニュー

右クリックメニューで「表示」を選択すると、右のようなフローティングメニューが表示されます。



1. キャプチャ開始ボタン

本機へのコンピュータ画面の送信を開始します。
画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

2. 停止ボタン

コンピュータ画面の送信を停止します。画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

3. 一時停止ボタン

コンピュータ画面の送信を一時停止し、本機の投写画面を静止させます。
コンピュータ上での作業を、本機の画面に表示させたくない場合などに便利です。

4. オプションボタン

オプションメニューを表示します。(M90)

5. 最小化ボタン

フローティングメニューを閉じ、コンピュータのタスクトレイにアイコンで表示します。

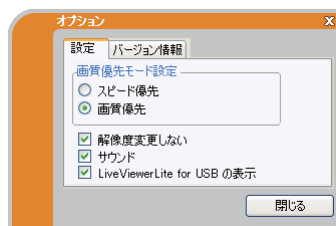
お知らせ

- キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

USB ディスプレイ (Windows コンピュータ) (つづき)

オプションメニュー

フローティングメニューのオプションボタンをクリックすると、オプションメニューが表示されます。



画質優先モード設定

"LiveViewer Lite for USB" は、キャプチャしたコンピュータ画面を JPEG データとして本機に送信しています。

JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新スピードのどちらを優先するかを選択することができます。

スピード優先

JPEG データの圧縮率を高く設定します。画面の更新間隔を短くできますが、画質は劣化します。

画質優先

JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。

解像度変更しない

チェックボックスを外すと、コンピュータの画面の解像度は以下のように変更され、画面の転送速度が速くなります。

1024 x 768 (XGA)

1280 x 720 (720p), 1280 x 800 (WXGA)

なお、上記の解像度をサポートしていないコンピュータをご使用の場合は、サポートしている解像度のうちで上記に近い解像度に変更されます。

サウンド

音声のオン/オフを切り替えます。映像と一緒に転送されてくる音声を再生すると、画質が落ちることがあります。画質を優先する場合は、チェックボックスのチェックを外し、音声を切ってください。

LiveViewer Lite for USB の表示

LiveViewer のアプリケーションウィンドウを本機の出力に表示したい場合は、ボックスをチェックしてください。

バージョン情報

"LiveViewer Lite for USB" のバージョン情報を表示します。

お知らせ

- 解像度を変更した場合、コンピュータのデスクトップにあるアイコンの並びが変更されることがあります。
- オーディオメニューのオーディオソースで、音声入力端子のどれか、または [X] を USB TYPE A に選択している場合は、は操作できません。

点検とお手入れ

内部の点検とお手入れ

内部にほこりがたまった状態で本機を使用し続けると、火災や感電、故障や映像不良の原因となることがあります。安全なご使用のため、1年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。

内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。



警告

お手入れのまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままお手入れすると、火災や感電の原因となります。

- ▶ お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。
- ▶ 本機内部に水や洗剤を入れない万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。



注意

- ▶ お手入れは正しい方法で行ってください。取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。
- ▶ **本機内部に水や洗剤を入れない**
万一、水や洗剤が入ってしまったら、販売店にご連絡ください。
- ▶ **本機を傷つけない**
硬いものを当てたり、こすったりして傷つけないようにご注意ください。破損や故障、映像不良の原因となることがあります。



警告

▶ 異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはお客様ご相談窓口（☎保証とアフターサービスについて）にご相談ください。




その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、本章の内容をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（☎保証とアフターサービスについて）にご相談ください。

メッセージ表示について

本機の画面には、下表のようなメッセージが表示されることがあります。下表の内容をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（☎保証とアフターサービスについて）にご相談ください。

メッセージ	内容
	<p>入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（☎12～15） ・信号源（DVD、ビデオ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？
	<p>USB TYPE B 端子がマウス設定になっています。</p> <p>画像を表示するには、「その他メニュー」の「USB TYPE B」設定で「USB ディスプレイ」を選択し、USB TYPE B から画像を表示します。</p> <p>この場合は、簡易マウス/キーボードとしてご使用いただけません。ご使用になりたい場合は、他の入力端子をご使用ください。</p>
	<p>本機は接続待ち状態です。</p> <p>機器との接続、本機の設定およびネットワーク関連の設定をご確認ください。コンピュータと本機のネットワークが切れていると思われる場合があります。再接続してください。</p>
	<p>本機は接続待ち状態です。</p> <p>機器との接続、本機の設定およびネットワーク関連の設定をご確認ください。コンピュータと本機のネットワークが切れていると思われる場合があります。再接続してください。</p>

メッセージの表示について (つづき)

メッセージ	内容
	<p>入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様に合っていますか？ ・信号源 (DVD、ビデオ、コンピュータなど) は正しく動作していますか？
	<p>入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様に合っていますか？ ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ (P12 ~ 15) ・信号源 (DVD、ビデオ、コンピュータなど) は正しく動作していますか？
	<p>無効なボタンが押されました。 使用するボタンを、再度ご確認ください。</p>

インジケータ表示

電源、HDMI、WHDI インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。

電源	HDMI	WHDI	内容
橙色の点灯	消 灯	消 灯	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる (ランプを点灯させる) または電源プラグを抜くことができます。
緑色の点灯	点 灯	消 灯	本機は電源が入っています。 HDMI 出力端子が選択されています。
	消 灯	点 灯	本機は電源が入っています。 (MS-1WJ のみ) 出力に無線モードが選択されています。
赤色の点滅 (MS-1WJ のみ)	消 灯	点 灯	冷却ファンが動作しません。 すぐに本機の電源を切ってください。 販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
消 灯	消 灯	消 灯	ACアダプターが本機より外れています。

設定を全てリセット

問題のある設定を正しく設定出来ない場合は、その他メニューの特別な設定から工場出荷設定で全てをリセットできます。ただし、言語とネットワーク設定は、リセットされません。(M52)

故障と間違いやすい現象について

修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。

現象	確認内容	参考頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。	17, 18
	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？	17, 18
映像も音声も出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	12～15
	信号源（DVD、ビデオ、コンピュータなど）は正しく動作していますか？ 信号源の電源や設定を確認してください。	-
	信号が入力されている端子を選んでいますか？ 映像信号を選択しなおしてください。	20

故障と間違いやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
映像は出るが 音声がでない	音声信号は正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	12～15
	ミュート機能が働いていませんか？ MUTE ボタンを押してください。	21
	音声を消していませんか？ MUTE ボタンまたは VOLUME + / - ボタンを押し、音声を復帰させてください。	21
	音声信号の入力端子が正しく設定されていますか？「オーディオ」メニューの「音声入力設定」の設定を確認してください。	42
	音声のボタン (♪)、およびチェックボックスで音声が無効にされている。 USB TYPE A 端子を選択している場合は、サムネイルメニューで音声をオンにしてください。 USB TYPE B 端子を選択している場合は、"LiveViewer Lite for USB" のオプション画面で音声チェックボックスからチェックマークをつけてください。 LAN 端子を選択している場合は、"LiveViewer" のオプション画面で音声チェックボックスからチェックマークをつけてください。	76, 79, 90
音声は出るが 映像が出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	12～15
	画面の明るさが極端に暗く調節されていませんか？ 「映像」メニューの「明るさ」を調節して明るくしてください。	27
	接続しているコンピュータがプラグ&プレイ・モニタを検知できますか？ 他のプラグ・アンド・プレイ・モニタを使用して、コンピュータがプラグ・アンド・プレイ・モニタを検知することができるか確認してください。	11
	ブランク画面になっていませんか？ BLANK ボタンを押して確認してください。	6

故障と間違いやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
音声は出るが 映像が出ない (つづき)	USB TYPE B 端子がマウス設定になっています。 画像を表示するには、「その他メニュー」の「USB TYPE B」設定で「USB ディスプレイ」を選択し、USB TYPE B から画像を表示します。 この場合は、簡易マウス/キーボードとしてご使用いただけません。 ご使用になりたい場合は、他の入力端子をご使用ください。	24
	クロック位相が正しい設定になっていますか？	34
	USB TYPE B 端子が選択されていても“接続待ち状態です。” の表示は消えません。 USB ケーブルを外し、しばらくしてから接続してください。	13
	本機が USB TYPE A 端子に接続されている USB メモリーを認識できていません。 先ずは、「USB 取り外し」機能を使用し、USB メモリーを外します。 USB メモリーを外す前に、 USB TYPE A 端子が選択され、表示されるサムネール画面の「USB 取り外し」機能を必ず使用してください。	13,79
	フレームロックが有効になっています。 MUTE ボタンを一回押し、 MUTE+ENTER+FREEZE ボタンを同時で 3 秒間程押し続けます。	39
映像が動かない (静止している)	FREEZE ボタンで映像を静止させていませんか？ FREEZE ボタンを押して確認してください。	6
色が薄い、 色あいが悪い	色の濃さや色あいが正しく調節されていますか？ 「映像」メニューの「色の濃さ」、「色あい」を調節してください。	30
	色空間、信号方式は正しく選択されていますか？ 「入力」メニューの「色空間」、「ビデオフォーマット」の設定を変更してください。	37

故障と間違いやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
ちらつきや縞模様など、 画像ノイズが現れる	「オーバースキャン」を大きく設定しすぎていませんか？ 「表示」メニューで「オーバースキャン」を調節し直してください。	32
	「ビデオ NR」を強く設定していませんか？ 「入力」メニューで「ビデオ NR」を「中」か「弱」に設定してみてください。	36
音声、または映像が安定しない、または断続的に出力される	LAN、USB TYPE A、USB TYPE B 端子を選択している場合は、信号処理の遅延により、出力に欠落が生じる場合があります。 信号を変更するか、他の端子をご利用ください。	22,42
本機の USB TYPE B 端子に接続しているコンピュータが起動しない。	コンピュータがこの設定で起動できない。一旦 USB ケーブルをコンピュータから抜き、起動した後に再接続してください。	13
RS-232C が動作していません。	CONTROL 端子の通信タイプがネットワークブリッジを選択しています。「通信メニュー」－「特別な設定」－「その他」にて通信タイプを「オフ」に設定してください。	54
ネットワークブリッジ機能が動作していません。	ネットワークブリッジ機能がオフになっています。 「通信メニュー」－「特別な設定」－「その他」にて通信タイプを「ネットワークブリッジ」に設定してください。	54
ネットワークが動作していません。	有線 LAN と無線 LAN のネットワークアドレスが同じになっています。 有線 LAN と無線 LAN のネットワークアドレスを再設定してください。	59,65

故障と間違いやすい現象について (つづき)

現象	確認内容	参考頁
<p>本機が有線 LAN に接続されている場合、操作不能になる。</p>	<p>本機から LAN ケーブルを抜いて、本機が正常に動作することを確認してください。</p> <p>ネットワークに接続すると症状 (症状 A) が現れる場合は、以下のケースのように、ネットワーク内に 2 つのイーサネットスイッチングハブ間のループ接続があることが考えられます。</p> <p>(上記の「以下に説明するケース」の要件①として) ・ネットワーク内に 2 つ以上のイーサネットスイッチングハブがある</p> <p>(上記の「以下に説明するケース」の要件②として) ・それら (2 つ以上あるイーサネットスイッチングハブ) のうちの 2 つが、LAN ケーブルで 2 重に接続されている。</p> <p>(上記の「以下に説明するケース」の要件③として) ・その 2 重に接続された 2 つのハブ間でループを形成している。</p> <p>(症状 A の補足説明として) このようなループは、本機だけでなく、ネットワーク内の他の装置へも悪影響を及ぼすことがあります。</p> <p>ネットワーク接続を確認し、(ループが存在する場合は) LAN ケーブルを 1 本にするなどして、ループを削除してください。</p>	-

印刷物の取扱説明書をご参照ください。

プロダクトソフトウェアのライセンス情報について：

- ・プロダクトに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに弊社または第三者の著作権が存在します。
- ・付属品 CD 「User's Manual (detailed)」内の、「ソフトウェアのライセンス情報」を必ずお読みください。